

六十年史





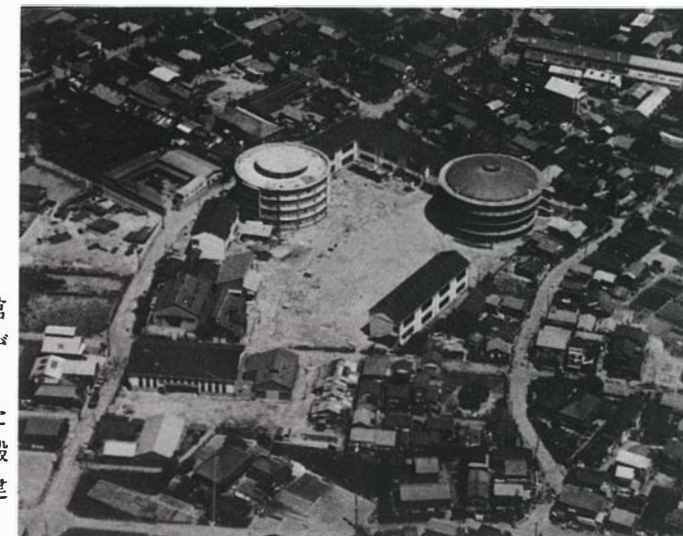
昭和30年ごろの本校

講堂(右上隅の建物)が道路をへだてて西側へ移転した以外は昭和14年に完成した建物のほとんどそのままである。周辺は蓮田や畑が多く、高い建物もなかったため赤い瓦の校舎は遠くからもよく目についた。



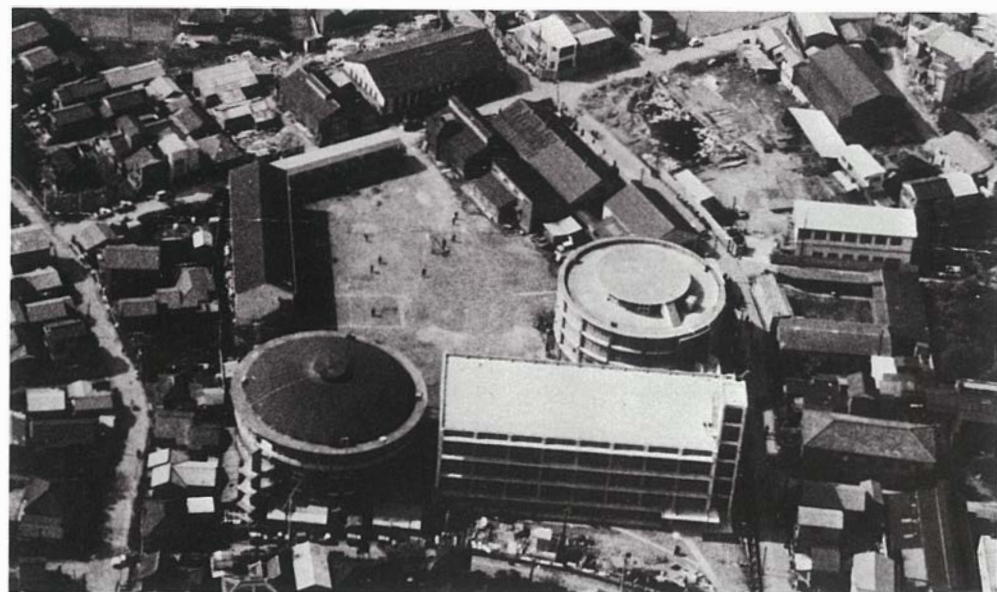
昭和37年ごろの本校

円形校舎の東館(右)と西館(左)が完成して学校の様相が一変した。機械科への志願者が激増したこともあって、西館の西側に鍛造・鑄造・木型実室などが建てられた。



昭和38年ごろの本校

前年の写真とほとんど変わっていないが、西館の西側に残っていた旧校舎の一棟(柔道場と電気実験室に使っていた)がとり除かれているのがわかる



昭和39年ごろの本校

本館の完成した直後の写真である。校庭の西側(上の部分)道路わきにクラブハウスの建物が見える。学校周辺には人家や工場もふえ騒音に悩まれるようになった。

昭和54年ごろの本校

講堂の跡地に機械科実室が建ち、南側の校舎の跡に建築実室が、機械科各実室を壊して総合体育館が完成といよに施設が目立って充実して創立五十五周年記念式典が盛大に挙行された



六十周年記念事業

●南館

鉄筋四階建ての南館には、普通教室(九教室)の他に、音楽室と階段式視聴覚室(一五〇席)がある。



南館全景

創立六十周年記念事業として①南館の建築 ②白銀山荘の建築 ③白井グラウンドの改修と合宿所の建築 ④東館・西館教室の全面改修と整備などが計画され ⑤を除きすべて完了した。



普通教室の内部

音楽室で練習する吹奏楽部員



階段式の視聴覚室

●白銀山荘

新潟県六日町にある白銀山荘は鉄筋三階建てで、九室の宿泊室の他、食堂・広間・浴室(2)、スキー・靴の乾燥室などがあり、八十名が宿泊できる。



雪にうずもれた白銀山荘



宿泊室の内部



竣工式であいさつする理事長

●白井合宿所



二階から見下した玄関ホール



白井合宿所完成予想模型
(60年2月完成予定)

● 本館

鉄筋四階建て。理事長室・校長室・職員室・事務室などの管理部門をはじめ、会議室(大・小)・普通教室・電気科実験実習室・コンピューター室・物理・化学実験室などが収められている。



校庭から見た本館



正面玄関



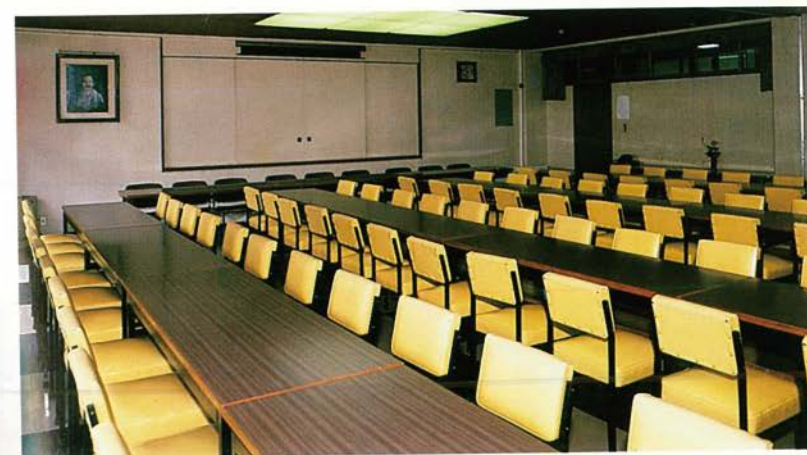
本館建物と植込み



小会議室



玄関ホール



大会議室



校庭から見た西館

●西館

鉄筋五階建ての円形校舎。三階までは普通教室、四階は図書館書庫と普通教室、五階は図書閲覧室になっている。



図書閲覧室の内部



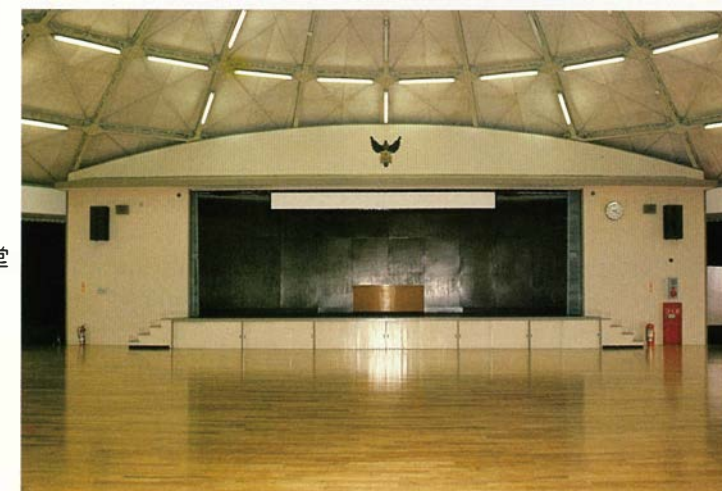
南館裏に設置された自転車置場



校庭から見た東館

●東館

鉄筋四階建ての円形校舎。三階までは普通教室で、四階は大講堂になっている。



4階にある大講堂

物理実験室(本館4階)でバネ定数測定実験中の生徒



化学実験室(本館4階)で炎色反応実験中の生徒



●総合体育館

鉄筋三階建て。一階に進路相談室・保健室・特別教室(3)、二階は体育教官室・柔・剣道場・トレーニングルーム、三階はジムナジウムになっている。



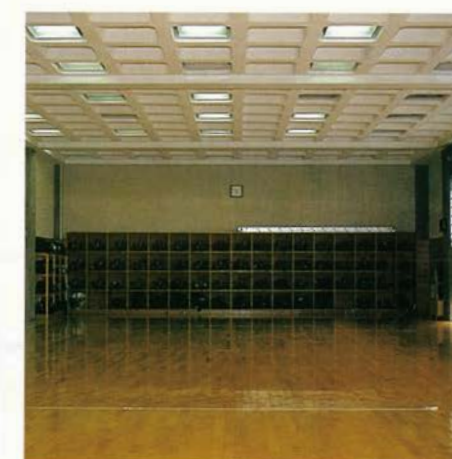
校庭から見た総合体育館



トレーニングルーム



柔道場



剣道場



ジムナジウムの内部



保健室の内部



進路相談室



●クラブハウス

総合体育館裏にあるクラブハウスはプレハブ2階建て。部屋数は14、使用クラブは14クラブである。

●機械科実習館と実習風景

機械科実習館は鉄筋三階建てで、各階には機械科生徒の実験・実習に必要な施設・設備が収められている。



機械科実習館



溶接実習
(ガス溶接の基本作業)



特機実習(フライス盤の歯みぞ切削加工)



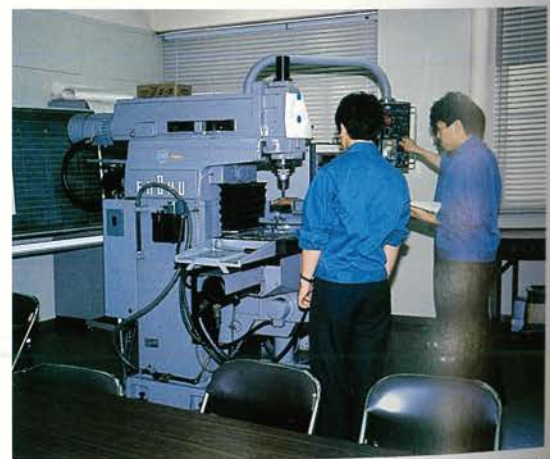
旋盤応用実習(豆ジャッキの製作)



計測実習(自動制御実習)



原動機実習(水力の流体実験)



NC実習(NCフライスの実習)



鍛造実習(ケガキ針の製作)



鑄造実習(石型による型込み)



製作実習(電子調光器の製作)

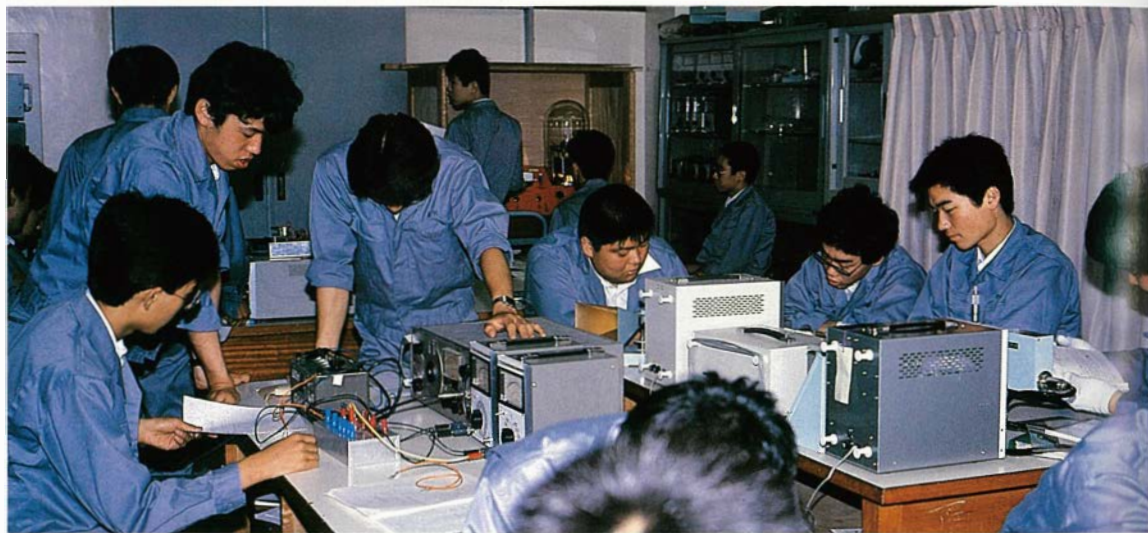


電気機器実習(単相変圧器の三相結線)



コンピューターの実習風景

●電気科実習風景
電気科の実験・実習の設備は本館三階・四階に
収められている。



電子工学実習(マイクロ波通信の実習)



電子工作実習
(6石トランジスタラジオの製作)



自動制御実習(圧力制御)



電気計測実習(ケルビン法による検流計の内部抵抗)



電子工学実習(3極真空管の静特性の測定)



電気工事実習(金属管の切断作業)

● 建築実習館と実習風景

建築実習館はプレハブ二階建て。各階に実験・実習設備室が整っている。



建築実習館



木工実習



木工製作実習



建築基礎の中の機械加工実習



建築基礎の学習



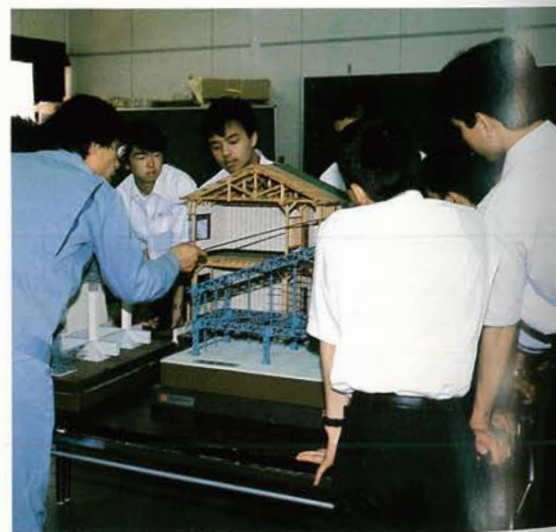
製図製作中の生徒



材料実験の実習



荒川放水路堤防で測量実習をする生徒



選択(造形)の学習

林間学校



なれない手つきで飯盒のお米をとぐ

山の中をオリエンテーリング



体育祭



5000メートルのスタート



組体操の演技

霜月祭



人気のある生徒作品の即売会場



大盛況のお祭り広場

入学式

江戸川総合文化センターでの入学式



昭和59年度 関東第一高等学校入学式



会場いっぱいの
新入生と父母たち



雲仙の地獄めぐり

修学旅行



長崎グラバー邸でガイドさんから
説明を聞く生徒たち



優勝トロフィーと賞状



結団式であいさつする守屋理事長(江戸川公会堂で)

世界一になった吹奏楽部



コンクールで演奏する本校吹奏楽部員(ウィーン、ルドルフスハイムで)



ウィーン、シェーンブルン宮殿前での記念撮影



松島通りを優勝パレード

吹奏楽部は昭和五十五年七月、オーストリアのウィーンで開かれた第九回青少年音楽祭吹奏楽コンクールで見事優勝した。また昨年・今年と東京代表として全日本吹奏楽コンクールへ連続出場した。



楽しい思い出・スキー教室の仲間たち

スキー教室



白銀の中をさっそうと滑る生徒

予餞会



予餞会の目玉、吹奏楽部の演奏



ゲスト歌手の出演で会場は一段と盛り上がる

卒業式



卒業生に訓辞をする守屋校長



緊張の面持の卒業生たち

甲子園出場も近い硬式野球部

硬式野球部は昭和五十八年、夏の東京大会で従来のベスト4の壁を破り、初の決勝へ進出、準優勝の栄冠に輝いた。甲子園はもう目の前にある。



力投する山崎投手
(58年、東京大会決勝戦で)



理事長・校長も応援にかけつける



58年、東京大会の閉会式、本校選手の胸に準優勝メダル輝く

生徒会役員も先頭に必死の応援



声援を贈りつづける
ぎっしり詰めかけた父母たち



関東大会常連の卓球部

東京代表として関東大会での常連卓球部は、インターハイ出場十回、私立中高卓球大会では二回優勝するなど、かすかすの輝かしい記録を持っている。



インターハイ(57年、鹿児島)出場の卓球部選手たち

関東大会(59年、前橋)で健闘する本校選手



インターハイで活躍中の本校選手



関東大会出場の選手たち



その他のクラブ活動



スパイク・ブロックの応酬、バレーボール部の練習



伊豆・土肥温泉で合宿中の応援部



ヘディングの技冴えるサッカー部



ジャンプ・シュート、バスケットボール部



力増のテニス部



着実に力をつけ支部大会で優勝したバドミントン部



支部大会優勝の軟式野球部



土俵開きで、理事長に相撲道場寄贈の目録を贈る岩楯氏(本校OB)



十和田大会(昭和55年)出場の相撲部選手たち



連日、林監督の胸を借り激しい稽古に励む部員たち

関東大会(昭和58年押忍大会)で入場する本校選手

全国大会都予選で準優勝の表彰を受ける本校チーム(昭和59年)



金沢・十和田・宇佐大会出場の相撲部

相撲部は東京代表として毎年関東大会へ出場しているが、昭和十五年、五十七年は十和田大会、五十八年には金沢大会、そして今年には宇佐大会と全国大会へも出場し、大いに気を吐いている。

六十年史

関東第一高等学校



気迫の練習に励む剣道部



激しい稽古に打込む柔道部



躍進著しい陸上部



毎年好成績の拳正道部



創部初年、都大会で入賞者を出したレスリング部



関東大会へ出場のスキー部



初の公式戦へ出場、2回戦へ進んだラグビー部

昭和3年度

4月 1年生約100名を入学させ、1年から5年までの生徒総数は約450名となった



昭和3年ごろの新小岩駅。建物や利用客の服装に時代がしのばれる

5月 第1回の運動会を西武線の上井草運動場で挙行した。

7月 配属将校として森田大尉が着任し、以後現役軍人による学校軍事教練が実施された。



正科としての軍事教練始まる

- 10月 修学旅行（静岡・修善寺方面）
- 11月 今上天皇即位大典のため京都に行幸せられるのを奉送・奉迎した。
- 12月 宮城前広場で行われた東京府、近県諸学校青年団御親閲式に4、5年生全員が参加した。
- 2月 査閲官永田鉄山大佐による本校第1回の軍事教練の査閲を近衛歩兵第2連隊射撃広場で受けた。
- 3月 第1回の卒業式を挙行。来賓として顧問藤本博士の講話があった。卒業生52名、その就職・進学には関係者一同大

として村上文弥氏（周三郎氏父君）、監事に佐野源一郎氏が就任し、村上周三郎先生が設立者代表と校長を兼ねた。

また、顧問として商大教授商学博士藤本幸太郎、電機学校参事佐久間正太郎両氏を迎えた。

新入学生は1年約100名、2、3年にも若干の補欠を入れて生徒総数が200名を越えた。教育綱領には人格の陶冶・画一教育の打破・実際教育・体育奨励の四項をかかげて教育方針とした。



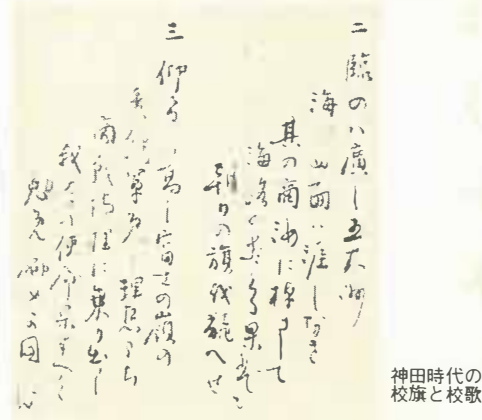
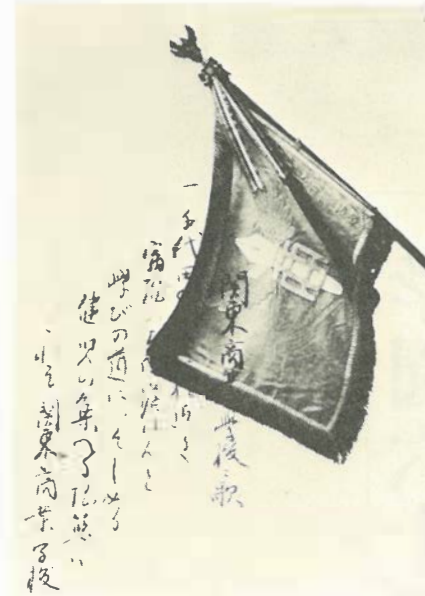
登校時のあいさつ

3月 別科（3年卒の旧制度）第1回生の卒業式（13名）を挙行した。

昭和2年度

- 4月 1年生約100名を入学させ最上級が4年生となった。
- 10月 修学旅行（全学年、伊香保・榛名山方面、2泊3日）
- 11月 陸軍大臣から徴兵令による中学校の学課程度と同等以上の学校として認定された。（卒業生は1年志願兵幹部候補生の資格を得た）
- 3月 別科第2回（9名）の卒業式を挙行する。以後別科を廃止した。

同年、帝国書院社長守屋荒美雄先生の経済的な協力により多額な基金を得た。



神田時代の校旗と校歌

2月 財団法人関東商業学校（甲種商業学校）の設置を文部省・東京都（当時東京府）へ申請した。

大正15年度

4月 財団法人関東商業学校が認可され、実業学校令による5年制の甲種商業学校となった。財団の役員は設立者理事として村上周三郎・守屋荒美雄の両先生、他に理事

大正13年度

大正14年2月 村上周三郎先生が千代田区神田錦町3の3（当時神田区錦町3の18）の電機学校の一部を仮校舎として修業年限3ヵ年の関東商業学校（乙種商業学校）を創立した。



神田錦町校舎全景



神田校舎の正面玄関

大正14年度

4月 村上先生が校長と同時に経営責任者となり喜美夫人が経理を担当し1、2年を合わせて100名弱の新入学生で4月27日（関東商業学校設立、認可される）に開校式（創立記念日）を行った。

3月 第5回卒業式(卒業生94名)来賓講話
商大教授 藤本幸太郎博士。



通信簿授与風景

昭和8年度

- 4月5日 入学式(入学生388名)
- 5月28日 陸上大運動会(芝公園グランド)
- 6月20日 珠算大会。
- 9月26日~27日 1泊野外教練(5年、小岩小・篠崎小付近)
- 10月3日~10日 5年生関西修学旅行。
第1日、鳥羽行き夜行列車乗車。
第2日、二見が浦・伊勢神宮・橿原神宮・神武天皇陵 奈良泊。
第3日、奈良市内見学(猿沢池・春日神社・東大寺・博物館・興福寺) 京都市内見学(桃山御陵・乃木神社・伏見稲荷・京都博物館) 京都泊。
第4日、京都市内見学(八坂神社・円山公園・知恩院・南禅寺・平安神宮・銀閣寺・北野天満宮・金閣寺・嵐山・東本願寺・豊国神社・三十三間堂・清水寺) 京都泊。
第5日、比叡山・延暦寺・日吉神社・琵琶湖船上遊覧(石山寺・三井寺) 大阪泊。
第6日、大阪市内見学(中央市場・中之島公園・大阪城・四天王寺) 同夕大阪港から「箱根丸」(1万4百トン)に乗船。
第7日、午後2時30分横浜港着、4時過ぎ東京駅で解散。
- 10月8日~10日 4年生以下日光修学旅行。
橋本・和泉屋に宿泊。
- 11月 珠算大会。

場での遙拝、明治神宮参拝、観兵式の参列拝観、大祭ごとの靖国神社参拝などの行事が以後長年にわたり実施された。

- 10月 修学旅行(5年、伊勢・京都・大阪方面、6泊7日)(4年以下、修善寺・箱根方面、2泊3日)
- 3月 第4回卒業式(卒業生107名)来賓講話 関東紡績社長 堀明太郎氏。

昭和7年度

- 4月 入学式(入学生220名)
- 8月 10日~11日「麦茶接待デー」。新宿・渋谷等都内11カ所で「献身奉公」の赤だすきを掛け麦茶の無料接待をした。接待人員は3万数千名に達し、NHKラジオニュース・国民新聞等で全国に報道された。



街頭での麦茶無料接待

- 9月1日 3年生、母校(出身小学校)訪問。
- 10月 関西方面修学旅行(二見が浦等)以後昭和14年までつづいた。帰路の神戸~横浜間は客船を利用した。



修学旅行(二見が浦)



- 10月 財団法人理事村上文弥氏が死去されて後任に村上喜美氏が就任した。
修学旅行(5年、伊勢・京都・大阪方面、6泊7日)(4年以下、修善寺・箱根方面、2泊3日)
- 1月 教練査閲を代々木練兵場で行った。査閲官は歩兵第3連隊長山下奉文大佐であった。
- 3月 第3回卒業式(卒業生95名)来賓講話 三菱製紙取締役 信貴英蔵氏。

昭和6年度

- 4月 入学式(170名入学)この年、満州事変が起こり、学校では入学宣誓式を明治神宮で行った。
また正科の軍事教練以外に、陸海軍記念日には軍事講話、四大節の宮城前広



新入生を迎えて宣誓式(明治神宮で)

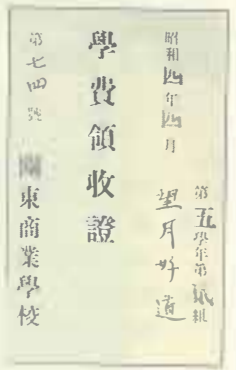


明治神宮へ参拝

いに努力し、銀行3、商事会社5、生産会社6、個人商店7、官公庁4で計25名が就職し、他に自家営業11名、上級学校進学12名、その他3名という好成績を収めた。

昭和4年度

- 4月 第1学年約120名を入学させ、生徒数が初めて定員500名を越えた。
- 3月 第2回生109名の卒業式を行い来賓の衆議院議員定塚門次郎氏から講話があった。就職・進学
の状況は前年より更に好転した。



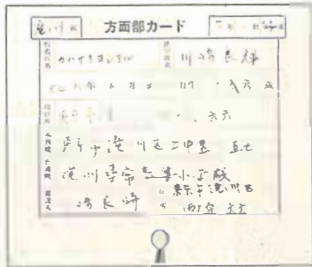
学費領収証

年	月	日	科目	金額	備考
昭和四年	四月	一日	入学料	六拾六圓	
昭和四年	四月	一日	学費	五拾圓	
昭和四年	四月	一日	同窓費	五拾圓	
昭和四年	四月	一日	雑費	六圓	
昭和四年	四月	一日	合計	一七六圓	
昭和四年	四月	一日	返金	一七六圓	
昭和四年	四月	一日	残高	〇圓	

授業料月額6円、同窓会費50銭とある

昭和5年度

- 4月 第1学年120名が入学した。
- 6月 4、5年全員が富士山麓板妻廠舎で3泊4日の最初の野営教練を実施した。以後は教練科の必須行事として毎年実施されることになった。



方面部カード



方面部バッジ

3月 第8回卒業式(卒業生120名)来賓講話 正金銀行監査役 守田藤之助氏。



予餞会風景

昭和11年度

4月 入学式(入学生240名)



軍事教練



剣道大会

9月29日 全校生徒・職員の醸出した関西風水害義捐金109円96銭を坂田生徒監が生徒総代とともに朝日新聞社へ出向き寄付した。

10月4日～10日 5年生関西修学旅行。

8日～9日 4年生以下箱根方面旅行。

14日 実業教育50周年記念剣道大会に参加した。なお同上美術展覧会出品ポスターに5年の矢島君が入賞した。同上記念球算競技会に本校生徒8名が参加し入賞した。

17日 靖国神社例祭に全校生徒が参拝した。

30日 勅語奉読式。

31日 実業教育50周年記念産業博覧会に本校生徒が出場した。(4日間)

11月1日 神宮奉祝体育大会に参加した。

7日 東京府主催明治神宮遙拝式に参加した。

18日 全校生徒が東北凶作義捐金の街頭募金を行い、募金額1,388円34銭を日々新聞社を経て寄付した。



東北凶作義捐金の街頭募金風景

22日 秋季体育大会開催(上井草グラウンド)

3月 第7回卒業式を商大一橋講堂で行った(卒業生95名)来賓講話 三菱重工業常務取締役 原料三氏。

昭和10年度

4月 入学式(入学生300名)

菊山修五郎氏と本校配属将校石田少佐が日本海海戦について講演した。

1、2年生は各自3銭ずつ醸金して乙旗を作製、屋上に掲揚した。

5月28日 海軍記念日の講演として後備海軍一等兵曹 森金作氏が「広瀬中佐を偲ぶ」という題名で講演した。

6月15日 春季体育大会(上井草グラウンド)



春季体育大会(上井草グラウンドで)

21日 本校生徒用外被を制定した。

23日 5年生1泊野外演習。

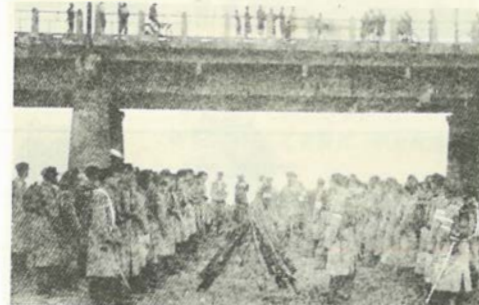
26日 立教大学学長 木村重治先生の講演「精神作興について」を聞いた。

7月23日 夏期講習会開始(2週間)

9月8日 2学期始業式。式後全校生徒は神田明神に参拝し平田社司の講話を聞いた。

12日 満蒙事情について、杉浦春之助氏の講話を聞く。

21日 実業教育50周年記念事業として、府下実業学校連合演習を多摩川畔で行う。5年生が参加した。



実業教育50周年記念府下中学校連合演習(多摩川畔で)

23日 連合演習閲兵分列式を代々木練兵場で挙行し、全校生徒が参加した。

11月10日 雄弁大会。



雄弁大会

25日 体育大会(上井草グラウンド)

12月5日 成清中佐の教練査閲。

15日 商業実習(百貨店数カ所、4、5年生100名参加)



商業実習(都内の百貨店で)

24日 皇太子殿下御生誕奉祝式を挙行し、ついで宮城前で全校生徒が万歳を奉唱した。



軍事教練

2月10日 予餞会。

3月25日 第6回卒業式(卒業生95名)来賓講話 大阪商船東京支店長 渥美育郎氏。

昭和9年度

4月5日 入学式(入学生290名)

5月20日 陸上大運動会(芝公園)

26日 海軍記念日の講演として海軍大佐

関商名簿
(昭和13年8月発行)



(現在の生徒名簿と違い
学年別・地区別に分けて
あった)

12月 建坪1,060坪、普通教室21・特別教室2・教員室・図書室・理科標本室・兵器庫・武道場・大講堂などが完成した。第2学期終業式後、神田錦町の仮校舎で訣別式を行い、設備・備品を新校舎に搬入した。

1月1日 職員・生徒一同が新小岩駅から鼓笛隊を先頭に隊伍を組み新校舎に到着し、大講堂で入学式を行った。

1月15日 新校舎で授業を開始した。



校舎正面



校庭から見た校舎全景

2月11日 紀元節の良き日に落成祝賀式を行った。

3月 第11回卒業式
(卒業生196名)



昭和14年度
入学要覧表紙

事變の思ひ出
皇紀二千五百九十七年十二月十三日午
後十一時二十分大本營陸軍部報道部は
十三日夕刻敵の首都南京を完全に攻略
せり
五日未明杭州灣北岸金山衛附近
の海岸に上陸せる陸軍部隊は所
在の敵を撃滅しつゝ、猛進約三十
キロ六日夕早くもその第一線を
もつて黃浦江に達し一部は既
に同江北岸に進出せり。上陸當
時の戦闘における敵の遺棄死體
約一千兩獲山砲五門その他若干
我軍の損害は死傷を合し僅に十
數名を出でず二十一月七日陸軍
省から発表された

軍事色強い社会ニュース(卒業アルバムから)

2月8日 理事長守屋荒美雄氏が逝去された。守屋美智雄氏が理事長に就任、理事には守屋美賀雄氏、監事に藤田仁太郎氏が就任した。

3月 第10回卒業式(卒業生232名)来賓講話 衆議院議員 浜田国松氏。

昭和13年度

4月 入学式(入学生200名)



八代 盛先生の授業風景

5月26日 5年生「関西」修学旅行。

7月 生徒激増のため新校地として現在の江戸川区松島2の10の11(当時は江戸川区西小松川2の1700、その後西小松川2の470に地番変更)に耕地整理組合長大西謙蔵氏との交渉の末、3,000余を買収して登記を完了した。

8月 新校地の埋立・盛土工事に着手。

9月 整地完了、株式会社塩坂組によりただちに2階建て校舎の建築に着手した。岩瀬好一氏が副校長として就任した。松岡教頭は退任。

11月 新校舎の上棟式を挙行了した。

兼校長に就任した。



二代校長
岡田忠彦先生

3月 第9回卒業式(卒業生132名)来賓講話 貴族院議員 田沢義輔氏。

昭和12年度

4月 入学式(入学生260名)

8月26日 村上輝夫理事長、同喜美理事が辞任した。

31日 守屋美智雄、増田啓策の両氏が理事に就任した。

11月1日 運動会(芝公園)



運動会会場入口



運動会での岡田校長の訓辞



第10回運動会での一同の勢揃い

11月 岡田忠彦校長は国家的な公務多忙のため兼任の理事長を辞任し、守屋荒美雄氏が理事長に就任した。

当時の部活動



弓道部



競走部



相撲部



野球部(月島練習場で)



庭球部

8月20日 理事長兼校長村上周三郎先生(52歳)が逝去された。25日自邸で葬儀。同日嗣子輝夫氏が財団法人寄附行為によって理事に就任した。

9月 村上輝夫理事を理事長に選任(ただし未成年者のため実務は母堂村上喜美理事が代行)。校務は松岡峻三教頭が校長事務取扱いとなった。

13日 村上周三郎先生の校葬を講堂で行った。

12月24日 岡田忠彦先生(当時衆議院副議長)が守屋荒美雄理事の懇請により理事長

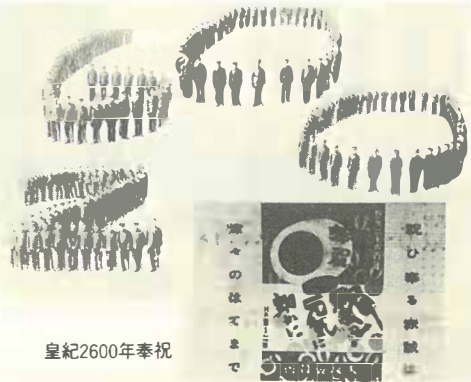
昭和16年度

- 4月5日 入学式（入学生233名）
- 24日 靖国神社臨時大祭に職員・生徒一同参拝した。
学校農園として江戸川河川占有につき都知事の認可を受けた。
- 28日 全校行軍を実施した。
- 5月7日 春季遠足。
- 13日 5年生は野営演習のため3日間習志野に出かけた。
- 15日 4年同上。
- 22日 「青少年学徒に賜わりたる勅語」2周年記念式を挙行政した。
- 6月13日～14日 防空・防火避難訓練を行う。
- 18日 全校校外見学。
- 26日 5年生全員は板橋兵器廠作業に出張した。
- 7月2日 応召の大森・梅沢・平野三教諭の送別式をした。
- 9月9日 4年生は被服廠作業に出張した。
- 16日 3年生以上は荒川勤労作業に出張した。
- 27日 秋季遠足。



当時の先生たち（玄関前で）

- 10月2日 職業指導所員5名来校、5年生の就職について面談。
- 20日、25日 防空訓練を実施した。
- 11月6日 体育大会（錦糸町公園）
- 21日、22日 5年は下志津での府下中等学校連合演習に参加した。
- 29日 学芸大会。
- 12月9日 「英米に対する宣戦の詔書」奉読式を行った。
- 11日 教練査閲（校庭）



皇紀2600年奉祝

9月1日 田代先生、教頭に昇任。



職員室風景



勤労奉仕

- 10月20日 東側新館に普通教室4・特別教室2が落成した。
- 1月18日 全校行軍を実施した。
- 1月29日 4・5年生校外見学。
- 2月8日 故守屋荒美雄先生3周年祭礼拝式挙行政。
- 2月15日 予餞会。
- 3月5日 第13回卒業式（卒業生165名）



商業実習（汐留駅で）

昭和15年度
入学要覧表紙

軍事色の濃い昭和15年度
入学要覧表紙



2月6日 今上天皇御真影奉戴式。



御真影の奉戴（今の正門わき）

3月15日 第12回卒業式（卒業生212名）

昭和15年度

- 4月1日 関東工科学校を創設（夜間）
- 5日 入学式（入学生278名）
- 5月15日 守屋荒美雄先生の胸像除幕式を行う。



守屋荒美雄先生の胸像除幕式



新校舎入校式



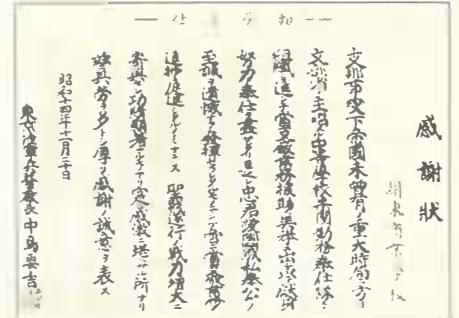
新校舎落成祝賀式（大講堂で）

昭和14年度

4月5日 入学式（入学生420名）



週番の朝礼



感謝状

勤労奉仕への陸軍からの感謝状



“国破れて山河あり” のどかな学校周辺と校舎

昭和22年度

4月1日 教育新制度によって3年制中学校
関東第一中学校を設置する（関東第一
商工学校3年以下編入）
5日 江戸川区委託中学1年生として松
江地区小学校から男子生徒6学級が入
学した。
9月15日 カサリン台風
のため江戸川区全
域が浸水。本校も
床上50センチの浸
水を受けた。



中・高一緒の
生徒募集ポスター

3月10日 第21回卒業式
（商業科83名・機械科22名・電気科
18名・計123名）
23日 中学第1回卒業式（卒業生188名）

昭和23年度

4月1日 新制度により関東総合高等学校開
設。（第2部は商業課程・電力課程）
3月25日 第22回卒業式（商業科26名・機械
科23名・電気科35名、計84名）
関東商工学校を廃校。
中学第2回卒業式（卒業生240名）

電機・昭和自動車・那須アルミ・前田
鉄工所の諸会社に出動した。

3月10日 東京空襲により江東地区類焼のた
め、生徒は疎開し、生徒数は780名に
激減した。

20日 第17、18回同時卒業式（卒業生
428名）第18回から文部省命令により
4年制となった。

昭和20年度

4月5日 入学式（入学生210名）
岡田忠彦校長辞任。岩瀬好一先生校長
となる。
4月 3年皇国第5001工場に出動した。
8月15日 終戦の大詔渙発。勤労報国隊は解
除された。
9月1日 関東第一商工学校と改称し授業を
開始する。
30日 進駐軍用として校舎接收の命をう
け、明け渡しの準備を完了した。
11月1日 接收解除される。
3月10日 第19回卒業式（卒業生106名） 5
年生復活のため一部5年に残留する。

昭和21年度

4月1日 第2部、商業科を復活設置し関東
第二商工学校と改称した。
6日 入学式（入学生250名）

この年の入学生は、本校が戦災に会わ
ない校舎を持つことが有利にはたらい
て250名あった。しかし、生徒の出入り、
教育の移動が激しく、落ち着いた教育は
できなかった。

特に教科書は占領政策に基いた内容
で、1枚刷りの粗末なものを折り畳ん
で冊子としたものであったが、これも
全員に渡らず授業内容は生徒に徹底し
なかった。

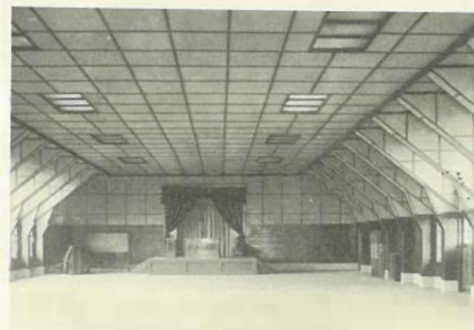
3月15日 第20回卒業式（卒業生36名）



玄関前での入試合格発表風景

昭和18年度

4月1日 商業学校転換命令によって、帝国
第一工業学校と校名を改称した（新入
生から実施）
5日 入学式。
12月23日 第16回卒業式（卒業生319名）
この年、教員の応召が相次いだ。

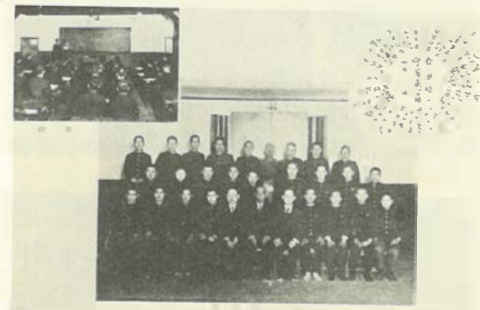


大講堂内部

昭和19年度

4月1日 実業学校令および工業学校規定に
より夜間工業学校の設立認可、関東工
科学校を帝国第二工業学校と改称し
た。
5日 入学式。
学徒勤労動員は本格化し、5年生は学
徒勤労報国隊動員令によって昭和自動
車・那須アルミ・前田鉄工所に出動し
た。
9月 3、4年生は岡野電気・精工舎・芝浦

12月27日 第14回卒業式（今回から文部大臣
の示達により繰り上げ卒業）
26、31日 3、4年生は汐留・新橋・東
京駅の貨物配達作業に従事した。
1月24日 全校行軍（千葉神社往路32キロ）



関東工科学校第1回卒業生

昭和17年度



「戦争はこれからだ」と書いたのぼりを
先頭に行進する生徒（小松川橋付近で）

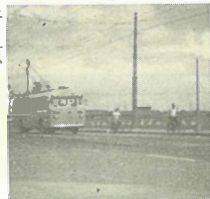
6月18日 校外見学
（3年、科学博
物館、4年、朝
日新聞社、5年、
皇室博物館）
7、8月 上級学年、
夏休みを返上
し、半月ほど勤
労奉仕に当る。
12月 第15回卒業式
（卒業生153名）

関東商業学校教育綱領
聖旨を奉讀し天君親師の四恩を感謝し一意専心學
業に励み身心を錬成し以て皇國商業家として優秀
なる人材たらんことを期すべし
献身報國を以て第一義となし至誠、剛健、質素、勤
勉、自治、協同、進取向上の諸徳を陶冶し校則に遵
ひ師訓を守り以て本校の美風を發揚すべし
常に規律的生活をなしく保健全にして強固なる身體の
育成に努むべし

当時の教育綱領

昭和27年度

- 4月9日 入学式(中学38名・普通科46名・商業科106名・機械科37名)
- 28日 高3進学適性模擬試験。
- 5月12日 中学修学旅行(銚子方面)
- 14日、15日 中学「街頭赤十字募金」へ参加する。
- 16日 映画教室「山びこ学校」(コンパル劇場)
- 6月20日 中学見学会(科学博物館・毎日新聞社)、高2、3(鎌倉方面)
- 21日 高1(都内見学)、高3(東京株式見学)
- 8月3日 講堂改修後援会をPTA、同窓会有志合同で組織し、講堂の改修に着手した。
- 10月4日 体育祭。
- 13日 全校修学旅行(高2日光、高3京阪方面)
- 11月23日 学芸会。
- 12月6日 講堂改修工事の落成祝賀会を行った。
- 2月5日 映画教室「真空地帯」
- 7日 故守屋荒美雄先生の命日につき記念講演(講師 阿部真之助氏)
- 3月2日 第26回卒業式(普通科18名・商業科45名・機械科6名・電気科18名、計87名)
- 20日 中学第6回卒業式(卒業生115名)



生徒の足となっていたトロリーバス(小松川橋で)



電気科二部、第一期卒業生と先生たち

なった。
かくて学校の将来に対する不安から、公立校等へ転勤する者が続出した。ここに至って学校管理の責任上老齢の岩瀬校長は退任し、学校法人の守屋美智雄理事長が、学校再建のために4月から校長として赴任することになった。

- 4月5日 入学式(入学生110名)
- 5月11日 商業科3年見学旅行。中1、3遠足(河口湖)、中2(稲毛海岸)
- 15日 高1、2年見学旅行



第1回職員研修旅行(箱根・和泉館で)

- 6月9日 中学映画教室(新小岩映画劇場)
- 20日 中学1、3年東京港施設見学。
- 9月28日 中学全校修学旅行。(2年は藝科)
- 11月4日 運動会。
- 18日 芸能祭(学芸会・展覧会)
- 12月14日 映画教室「めし」「アンナカレーニナ」(コンパル劇場)



整備のすすんだ新小岩駅前

- 1月18日 全校マラソン大会。
- 2月16日 映画教室「窓」(新小岩映画)
- 3月3日 第25回卒業式(普通科27名・商業科23名・機械科31名・電気科7名、計87名)
- 26日 中学校第5回卒業式(卒業生168名)

- 3月10日 第23回卒業式(卒業生123名)
- 20日 中学校第3回卒業式(卒業生189名)

昭和25年度

- 4月6日 高校入学式(入学生83名)
- 7日 中学入学式(入学生138名)
- 5月12日 中3遠足(三浦半島・油壺)
- 13日 中1遠足(河口湖)、中2遠足(金沢八景方面)
- 6月14日 高3工業科石川島造船所見学。
- 7月3日 中3朝日新聞社見学。この年農園作業が盛んに行われた。
- 10月8日 運動会。
- 19日 講話(早大教授 暉峻康隆氏)
- 28日 中1遠足(昇仙峡)、中3遠足(伊香保)。
- 30日 中2遠足(伊豆修善寺)、高2、3年商業科、修学旅行。
- 31日 高3、修学旅行。
- 11月10日 映画・講演。
- 2月17日 卒業生送別学芸会を開く。
- 3月3日 第24回卒業式(卒業生84名)
- 20日 中学第4回卒業式(卒業生216名)
- 31日 岩瀬好一先生、校長を退任。
- 31日 学校農園を廃止し、都建設局河川部に用地を返還した。



新聞部で発行していた芸誌「関東」

昭和26年度

「公立中学校の整備、委託生徒の激減、それに比例して中学応募者の減少傾向が顕著になった。当然のことながら学校財政は圧迫を受け、加うるに学校経理の放漫と不手際から不当の債務をかかえて、時に教職員の給与にもこと欠くなど、危機的な症状を呈するまでに

昭和24年度

- 4月 PTAが発足し、初代会長に林重三郎氏が就任した。それまであった後援会は発展的に解散した。
- PTAは「生徒の幸福」と「学校の発展」とが一義的な目標として掲げられており、そのために教師はその職能と責任において、また、保護者は家庭と社会生活を通して、それぞれ協力しあうことになる。
- 従って、学校と家庭とは一体的な関係の中にも、それぞれの活動分野を持つものであり、本校のように公費によらない私学の発展のためには、保護者の全面的な協力が必要であるが、PTAは発足後、よくその任を果たした。
- 林氏は昭和29年3月まで会長をつとめた。
- 10月14日 創立25周年記念式典を行い、式後講堂で祝宴を開いた。当日は文部省の西崎局長、島村一郎衆議院議員、岡田忠彦前校長、江戸川区長はじめ、教育界から多数の来賓が参列した。



正門前での25周年記念撮影

15日 記念学芸会(講堂)



キティ台風による出水(平井駅構内)

創立30周年に発刊された記念誌



- 11月5日 文部省産業教育研究指定校として発表を行う。
- 6日 本校で、中学校職業・家庭科の研究授業を公開した。
- 11日 全校生徒ルーブル美術展観覧（上野国立博物館）
- 12月1日 全校マラソン大会。
- 2月5日 学芸会（兼予戯会）
- 20日 中学入学試験。
- 3月1日 第28回卒業式（普通科31名、商業科69名、機械科7名、計107名）
- 13日 高校入学試験。
- 19日 中学第8回卒業式（卒業生30名）

昭和30年度

- 4月12日 入学式（商業科131名・機械科123名）
- 5月14日 父兄会・講演会。
18日 全校で国際見本市見学。
- 6月18日 成人教育（講師 日銀調査役 中本喜助氏）
23日、24日 入学、入社模擬試験。
- 7月11日 修学旅行（中学猪苗代湖・裏磐梯。高1山中湖。高2奥多摩。高3関西・九州）
- 9月7日 講堂移築委員会開催。
17日 映画教室。
第3回関商杯争奪珠算競技大会（入新井5小・深川2中優勝）
26日～27日 普通科2・3年模擬試験。
29日 全校生徒「メキシコ展」見学（国立博物館）
30日 中3仏船「ヴェトナム号」見学（横浜港）
機械科実習工場鉄骨53坪上棟式を行う。
- 10月上旬 校内フォートコンテスト（田久保



しめやかな慰霊祭

- 6月1日 高校電気科、電気博覧会見学（三越）
25日、26日 高2、3模擬試験。
27日 戦後初の同窓会開催（学校講堂）
- 7月21日～30日 夏季講習会。



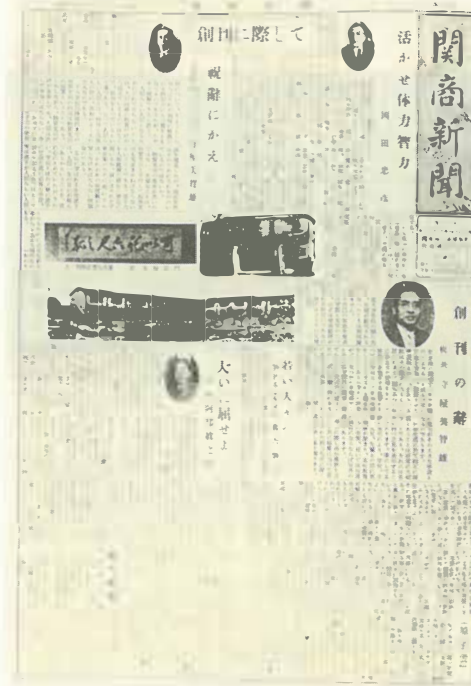
第2回アジア大会、レスリングウェルター級で優勝した兼子隆氏（OB）の祝賀会

- 9月25日 第2回関商杯珠算大会（第2松江小・足立9中優勝）
- 10月1日、2日 普通科2、3年模擬試験。
23日 創立30周年記念式典を挙行。
記念行事として23日～25日展覧会、24日体育祭を開催。
記念事業として隣接地460坪を買収して、講堂を移築し、また鉄骨の機械実習室52坪を増築した。



職員チームの若武者たち

- 11月1日 第24回学芸会。
- 12月3日 マラソン大会。
- 2月3日 機械科全学年、川崎製鉄千葉工場見学。
- 3月1日 第27回卒業式（普通科28名・商業科41名・機械科5名・電気科5名、計79名）
- 20日 中学第7回卒業式（卒業生28名）



昭和28年6月発行の学校新聞創刊号

昭和29年度

- 4月10日 入学式（商業科116名・機械科121名）。
- 4月 PTA総会。新会長に貴内繁三氏選出（貴内氏は昭和32年3月まで会長をつとめる）。
- 5月8日 映画教室「7人の侍」（銀映座）
23日～30日 高3修学旅行（四国・関西）
25日～26日 中1、2、3、高1修学旅行。
26日、27日 高2修学旅行。

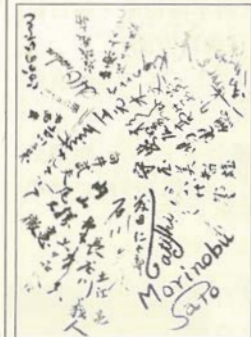
昭和28年度

- 4月1日 この年から普通科生徒募集中止。
- 10日 入学式（中学23名・商業科89名・機械科99名）
- 27日 校名を関東商工高等学校と改称する。（第2部は商業科・機械科）

創立当時の「関商」の愛称復活



先生方の寄せ書き



- 5月11日 全校奉祝修学旅行（中学房総1周。高1長瀨方面。高2筑波山方面。高3砂糖会社）
13日 PTA総会。
- 6月4日 映画教室「ヒットラーの最後」（新小岩劇場）
5日 高1新聞社見学。
10月5、6日 模擬試験。
10日 「関商新聞」を創刊する。
17日 高2証券取引所見学。中学東京港見学。
7月4日、6日、7日 中学学力試験。高校模擬試験。
- 8月2日 文部省産業教育研究指定校となる。
- 9月9日～10日 模擬試験。
19日 産業教育研究指定校認定記念第1回関商杯珠算大会（梅島小・大森2中優勝）
- 10月11日 全校修学旅行。（高3関西・四国方面、7泊8日）（高2松島・仙台方面、3泊4日）（高1志賀高原、3泊4日）（中学野尻湖方面、3泊4日）
25日 体育祭。

- だ」(本所映画)
- 16日 弁論大会。
- 20日 全校見学会(中学、高1羽田空港・横浜港・印刷局。高2村山貯水池・自衛隊・平林寺。高3都内見学)
- 11月23日～24日 文化祭。
- 11月30日 全校マラソン大会。
- 12月2日 東京都私学課の監査を受ける。
- 2月2日～3日 高1、2、中3学力テスト。
- 6日 父兄会・成人講話(講師 渡辺伸一郎氏)
- 8日 設立者守屋荒美雄先生20周年記念祭。
- 18日～19日 入学試験。
- 3月1日 卒業式(商業科104名・機械科93名)
- 9日 円形鉄筋校舎起工式。
- 20日 中学第11回卒業式(卒業生15名)。
中学最後の卒業式となる。



卒業記念に教職員の寄せ書き

昭和33年度

- 4月1日 制服が背広型となる。生徒手帳制定。



背広型制服決まる

- 20日 卒業生予餞会。
- 25日 映画教室「汚れなき悪戯」(江東リッツ)
- 3月1日 第31回卒業式(普通科27名・商業科62名・機械科92名)普通科は最後の卒業生となる。
- 13日～14日 入学考査。
- 20日 中学第10回卒業式(卒業生24名)

昭和32年度

- 4月11日 入学式(商業科147名・機械科303名)
- 4月 PTA 総会。新会長に榎本健吾氏。(榎本氏は昭和35年3月まで会長をつとめる)。
- 5月23日～31日 高3修学旅行(関西・四国・九州方面。8泊9日)
- 27日～29日 高2修学旅行(盤梯・赤倉方面。2泊3日)
- 28日～29日 中3修学旅行(修善寺。1泊2日)
- 6月 流感大流行のため、学級閉鎖や短縮授業実施。
- 13日 鋳造実習室火入式。
- 15日 円形鉄筋校舎建築事業協賛会結成。
- 7月11日～12日 高1修学旅行(浅間高原方面)
- 15日 新生野球部発会式。
- 22日～31日 夏季講習会。
- 9月21日 映画教室「抵抗」(江東リッツ)
第5回関商杯珠算大会(梅島小・荒川5中優勝)
- 26日～27日 高校、就職模擬試験。中学、進学模擬試験。
- 10月1日 東京都記念祭につき休業。
- 13日 第28回体育祭。
- 28日 生徒会役員選挙(会長に橋本俊彦君)
- 30日 父兄会、成人教育(講師 村岡花子氏)
- 11月2日 映画教室「翼よ、あれがパリの灯

- 5月28日～6月4日 高3修学旅行(関西・四国方面)
- 30日～6月2日 高2修学旅行(仙台・松島方面)
- 30日～31日 高1修学旅行(日本平方面)
- 30～6月1日 中2、3修学旅行(志賀高原)
- 6月20日 進学・就職模擬試験(高2、3)
- 27日 職業講話会開催(講師 亀戸労政事務所長)。
- 7月3日 就職講話(講師 亀戸安定所係員)。
- 11日 就職講話(講師 橋本三井銀行人事課長代理)
- 16日 映画教室「カラコルム」(本所映画)
- 21日～30日 夏季講習会。
- 9月20日 見学会(高2東京証券取引所。高3東京火力発電所)
- 22日 第4回関商杯珠算競技大会(平井西小・足立9中優勝)
- 10月1日 開都500年祭につき午後授業打ち切り。
- 2日 開都500年記念私学祭式典参加(神宮競技場)
- 12日 第27回体育祭。
- 18日 生徒会役員選挙(会長に小川喜一郎君)
- 22日 映画教室「マスナルに立つ」(江東リッツ)
- 25日 父兄会・成人教育(講師 NHK解説委員 熊谷幸博氏)。
- 27日 全校見学会(高3東京証券取引所。高2本州製紙。高1放送博物館。中学科学博物館)
- 11月20日 全校見学会(高3アサヒビール。高2宝酒造。高1羽田空港。中学交通博物館)
- 30日 全校マラソン大会。
- 12月15日 鋳造室上棟式。
- 12月 珠算実務検定会場校となる。
- 1月18日 機械科鋳造実習室(鉄骨44坪)落成式。
- 2月11日 成人教育。講師 NHKスポーツ部長 志村正順氏)

広美君ら入賞)

- 10月8日～10日 電気科3年、佐久間ダム見学。
- 11月2日 体育祭(学校)
- 4日 生徒会役員選挙(会長に高橋正夫君)
- 8日 映画教室(日比谷映画)原子力平和利用博覧会見学(日比谷公園)
- 12日 講堂移築、機械実習室落成記念式典挙行。
- 17日 私学祭(神宮競技場)に高1生徒全員参加。
- 12月2日 全校マラソン大会(11,000メートル)
- 2月3日 卒業予餞学芸祭挙行。
- 3月1日 第29回卒業式(商業科75名・機械科88名)
- 7日 入学考査(31年度から中学の募集を休止する)
- 20日 中学校第9回卒業式(卒業生21名)

昭和31年度

- 4月10日 機械科実習室修祓式。
- 11日 入学式(商業科208名・機械科258名)
- 19日 PTA 総会。
- 5月11日 映画教室「失われた大陸」(有楽座)工業展見学(日比谷公園)



映画教室(有楽座で)

- 2月6日 父兄会（講師 守屋紀美雄氏）
- 3月1日 第34回卒業式（商業科126名・機械科257名）

昭和35年度

- 4月1日 電気科生徒募集再開。
- 12日 入学式（商業科105名・機械科365名・電気科153名）
- 26日 映画教室 ドイツ映画「橋」（江東楽天地）
PTA 総会。新会長に滝尾享三郎氏（滝尾氏は昭和37年3月まで会長をつとめる）
- 6月1日 夏期制服着用と同時に新制定の襟章を添付させる。
- 4日 父兄会講演（講師 阿部真之助氏）
- 6日 鍛造実習室落成、修祓式。



完成した鍛造実習室

- 13日 演劇教室（人形浄瑠璃観賞）
- 18日 部会旗贈呈式と選手推戴式。
- 7月1日～13日 3年修学旅行（十和田・北海道一周、12泊13日）
- 6日～9日 1、2年修学旅行（1年裏磐梯。2年赤倉、2泊3日）
- 18日～27日 夏季講習会。
- 8月28日 3団体（帝国書院・吉祥女子高・本校）スポーツ大会。



3団体連合運動会（吉祥女子高で）

- 10月17日 父兄会・成人教育。
- 21日～23日 文化祭。
- 24日 創立35周年記念式典を挙行。
「三十五年誌」発刊。



35周年記念特集の学校新聞



創立35周年に刊行された記念誌

- 28日 35周年記念品贈呈（生徒へ）
- 11月6日 マラソン大会。



荒川堤防でのマラソン大会風景

- 12日 朝日新聞音楽教室。

- 2月8日 設立者守屋荒美雄先生記念祭。
- 14日 卒業予餞会。
- 17日 入学試験。
- 3月2日 卒業式。



荒川放水路から見た校舎（いま残っているのは東館だけ）

昭和34年度

- 4月11日 入学式（商業科210名・電気科143名・機械科381名）
- 25日 PTA 総会。
- 5月7日、8日、12日 新入生歓迎ソフトボール大会。
- 9日 就職講話と3年父兄会（講師 亀戸職業安定所次長）
- 19日 商業科、国際見本市見学。
- 20日～22日 工業科、国際見本市見学。
- 27日 私学祭、皇太子御成婚祝賀奉祝会（1年4クラス派遣）



機械実習風景

- 6月11日～13日 1年修学旅行（裏磐梯）
- 15日～17日 2年修学旅行（赤倉方面）
- 16日～26日 3年修学旅行（北海道）
- 9月26日 映画教室「レ・ミゼラブル」（本所映画）

同窓会報

35周年記念

同窓会報

創立35周年記念の同窓会報

- 4月11日 入学式（商業科126名・機械科341名）。
- 5月1日 就職講話（講師 亀戸職業安定所紹介課長）
- 19日 成人教育（講師 斉藤栄三郎氏）
- 27日 全校校外見学（1年商業科名古屋製糖。機械科宝酒造王子工場。2年商業科朝日ビール工場。機械科川崎製鉄千葉工場。3年商業科証券取引所。機械科本州製紙の予定は中止）
- 28日～6月2日 学年別バレー大会。
- 6月5日 就職講話（講師 三井銀行人事課長代理 橋本連男氏）
- 6日 交通安全講話（講師 小林、小松川署員）。
- 7月1日～4日 1年修学旅行
- 1日～10日 3年修学旅行（北海道方面）
- 9日～11日 2年修学旅行（磐梯高原方面）
- 14日～23日 夏季講習会。
- 9月18日 台風21号のため臨時休校。
- 27日 台風22号のため臨時休校。
- 29日 父兄会・成人教育（講師 阿部真之助氏）
- 30日 円形鉄筋校舎の落成引渡式（現在の東館）



本校初の鉄筋校舎「東館」完成

- 10月1日 大東京祭につき休校。
- 6日 新校舎へ移転した。
- 13日 映画教室（本所映画）
- 30日 岡田忠彦元校長逝去（80歳）
- 11月4日 岡田忠彦元校長葬儀（青山葬儀場）
- 14日 円形鉄筋校舎落成式。
- 22日 第6回関商杯珠算大会（真土小・荒川5中優勝）
- 28日 マラソン大会。
- 2月4日 父兄会、成人教育（講師 気象庁予報部長 理博 肥沼寛一氏）

井氏は昭和39年3月まで会長をつとめる)

- 5月19日 八代先生を送る会を、図書館で、学校法人・教職員・PTA・同窓会・親和会合同で行う。
- 23日 八千穂山荘上棟式。
- 25日 前校長、岩瀬好一先生逝去される。
- 6月2日 推戴式。
- 25日 パナマ総領事モラレス氏夫妻が来校し講演。
- 25日～7月3日 3年修学旅行(北海道一周、8泊9日)
- 26日～29日 1・2年修学旅行。(1年赤倉・野尻湖。2年裏磐梯)(2泊3日)
- 7月16日～25日 夏季講習会。
- 25日 長野県南佐久郡八千穂村に林間学校八千穂山荘(敷地1万坪、建物2百坪)が完成し、落成式を挙げる。
- 31日 林間学校第一陣出発(6日まで2年、6日からは1年)8月18日まで9回にわたり2泊3日で利用する。以後毎年1年生全員が使用することになる。

喜びのことばをのべる生徒会長



祝賀会で挨拶する守屋美賀雄理事長



夏休みに1年生が利用する「八千穂山荘」



キャンプに出発する生徒



本館完成予想図(故大橋荘二先生画)

- 13日～15日 文化祭。応援歌発表。
- 26日 体育祭。
- 11月10日 1・2年 校外見学。
- 18日 成人講話(講師 藤瀬五郎氏)

講堂での成人講話



- 3月1日 第36回卒業式(商業科165名・機械科364名・電気科126名)
- 31日 八代盛先生退職。勤続年数は昭和3年4月赴任以来満34年におよんだ。なお、先生はその後講師として昭和45年3月まで勤務された。



当時の校舎。今の本館の位置に木造二階建て校舎がみえる

昭和37年度

- 4月1日 天野格之助教諭、教頭に昇任。
- 11日 入学式(商業科198名・機械科340名・電気科224名)
- 4月 PTA 総会。新会長に今井正雄氏。(今

昭和36年度

- 4月11日 入学式(商業科58名・機械科268名・電気科85名)



当時の先生たち

- 5月20日 機械科木型実習室修祓式。
- 6月27日～7月7日 3年修学旅行(北海道・十和田・10泊11日)
- 7月3日～7日 1・2年修学旅行。
- 12日 選手推戴式。



選手推戴式(校庭)

- 9月22日 成人教育(講師 村岡花子氏)
- 10月3日 図書館開館式(10月5日から一般生徒利用開始)
- 8日 第9回関商杯珠算大会(千寿5小・荒川4中優勝)
- 11日 江戸川堤強歩訓練。
- 13日 第2期円形校舎(西館)落成式を本校図書館で挙げる。



完成した「西館」

- 9月24日 映画教室 イタリア映画「ロベル將軍」(江東楽天地)
- 26日 鉄筋校舎(西館)第2期工事の起工式を挙げる。



「西館」工事に着工

- 10月3日～4日 全校競技大会(総合体育大会)(バレー・バスケット・ソフト・ドッジボール・相撲・卓球)
- 10日 生徒会役員選挙(会長に滝尾享一君)
- 22日 父兄会(講師 NHK アナウンス部長 青木一雄氏)
- 26日 1・2年「講演と映画の会」(講師 弁護士 増田道義氏。映画「裁判のABC」「或る少年の場合」)



総合体育大会のアーチ(正門前)

- 11月18日 1・2年校外見学(1年商業科、森永製菓鶴見・東芝川崎工場)、(2年商業科、東京証券取引所)、(1年工業科、日産自動車横浜工場・横浜港)(2年工業科、川鉄千葉・火力発電所・自衛隊)
- 1月28日 父兄会(講演 ゲン道子氏)
- 2月8日 守屋荒美雄先生23回忌(講師 文学博士 西田卯八氏)
- 9日 第4回校内弁論大会。
- 25日 機械科木型実習工場で上棟式挙げる。
- 3月1日 第35回卒業式(商業科112名・機械科285名)
- 10日 第2期円形校舎(西館)上棟式。

- 22日 卒業生多数来校し、3年生対象に「実社会での体験談を聞く会」を開催。
- 2月6日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者慰霊祭。
- 3月1日 第38回卒業式（商業科47名・機械科228名・電気科73名）

昭和39年度

- 4月11日 入学式（商業科298名・機械科403名・電気科258名）
- 17日 千葉県印旛郡白井村に4千坪のグラウンド用地を買収。
- 20日 本館落成の修祓式。
- 25日 本館落成式内祝を行う。



落成した本館

- 4月 PTA総会（新会長に青野武臣氏）
- 5月30日 成人講話（講師 NHK会長 阿部真之助氏）
- 6月25日～7月3日 3年修学旅行（北海道一周・8泊9日）
- 7月9日 理事阿部真之助氏逝去。
- 20日～8月10日 1年林間学校（八千穂、3泊4日）
- 29日 千葉県印旛郡白井村のグラウンド地鎮祭を行う。
- 9月1日 守屋荒美雄先生胸像奉安式を行う。
- 26日 就職懇談会（2年）
- 10月1日 守屋美智雄校長、教育功労者として東京都から表彰状と銀盃を受ける。
- 4日 第12回関商杯球算大会（五反野



題字を改めた学校新聞

- 25日 クラブ・ハウス（257平方メートル）2階建てが落成し、入居式を挙げる。



生徒念願のクラブハウス完成

- 28日～7月6日 3年修学旅行（北海道一周、8泊9日）。
- 7月2日～4日 2年修学旅行（裏磐梯）
- 8日～17日 3年就職依頼者講習会。
- 9日 映画鑑賞「西部開拓史」（テアトル東京）
- 13日 同窓会総会。
- 17日 1年生林間学校（2泊3日）
- 8月21日～30日 1・2年講習会。
- 9月14日～15日 生徒作品展を開く。
- 21日 就職講話と担任との懇談会（講師 学校長）
- 10月28日 生徒会役員選挙（会長に赤沢洋太郎君）。
- 11月16日 成人講話（講師 東洋大学教授 村田宏雄氏）



恒例となった慰霊祭

- 3月1日 第37回卒業式（商業科89名・機械科320名・電気科138名）



当時の学校正門

昭和38年度

- 4月11日 入学式（商業科273名・機械科376名・電気科227名）
- 20日 PTA総会。新会長に今井正雄氏。
- 5月4日 推戴式。
- 11日 就職講話・懇談会（講師 亀戸職業安定所所長）
- 6月1日 成人講話（講師 斉藤栄三郎氏）
- 5日 第三期工事の本館（鉄筋4階建て1,200坪）工事の地鎮祭を行う。



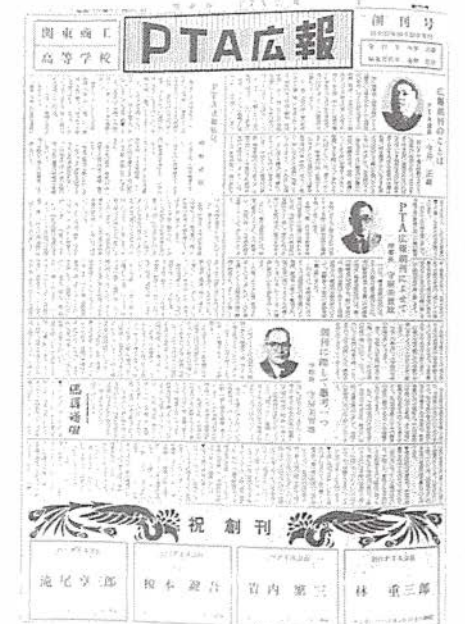
本館の地鎮祭

- 10日 「関商新聞」を「関東商工高校新聞」と改称する。



八千穂山荘前での記念撮影（落成式の日）

- 9月15日～16日 展示会。
- 10月14日 運動会。
- 20日 「PTA会報」を創刊する。



PTA会報創刊号

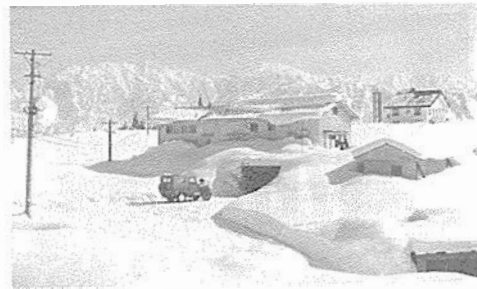
- 29日 映画教室。
- 11月7日 1・2年校外見学（1年武蔵野方面、2年鎌倉方面）
- 11日 進路指導懇談会。
- 17日 公開授業・成人教育。
- 2月8日 守屋荒美雄先生第26回昇天記念日にあたり、本校の法人・PTA・同窓会・旧職員関係の物故者合同慰霊祭を講堂で挙げる。

18日～27日 2年修学旅行（九州一周、7泊8日、3陣に分けて実施）



九州一周の修学旅行をとりあげた学校新聞

- 11月11日 進路指導懇談会。
- 12日 生徒会役員選挙（会長に竹内正義君）
- 12月12日 スキーハウスの内部改装工事が完成し開所式を挙げる。
- 1月28日 予餞会（江戸川公会堂）
- 2月7日～3月1日 3年スキー教室（六日町、2泊3日）



雪にうもれたスキーハウス



スキーハウスでの食事風景

10日 入学考査。

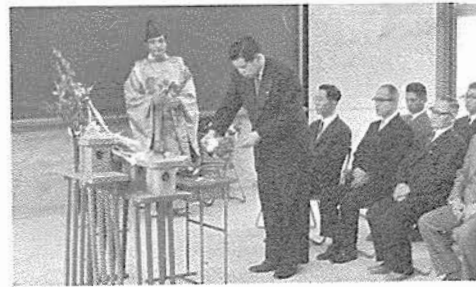


完成した野球部合宿所

- 31日 新潟県南魚沼郡六日町余川にスキーハウスを購入する。
- 7月19日～24日 3年講習会。
- 22日～8月9日 1年林間学校（3泊4日）6回に分けて実施。
- 31日 建築科実験実習場が落成。

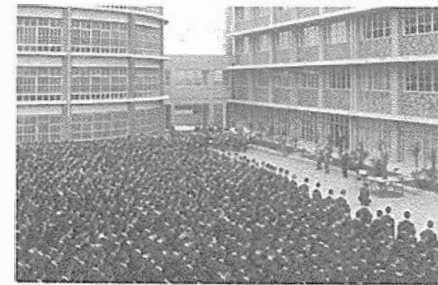


新設建築科実習場 4月に工事着工



建築科実習場竣工式

- 8月19日～30日 1・2年講習会。
- 10月3日 体育祭。



全校朝礼

- 1月5日 江間茂教諭急逝。
- 30日 成人講話（講師 慶応義塾大学教授池田弥三郎氏）
- 2月10日～11日 入学考査（英、数、国、社、理、5教科実施）
- 25日 予餞会（江戸川公会堂、中村学園の生徒が友情出演）。
- 3月7日 第39回卒業式（商業科173名・機械科309名・電気科193名）

昭和40年度

- 4月1日 新たに建築科を設置する。
- 11日 入学式（商業科259名、機械科256名、電気科148名、建築科125名）
- 24日 PTA 総会（新会長に大塚大五郎氏）
- 25日～8月28日 天野教頭、外国の学校事情視察のためアメリカ、ヨーロッパへ。
- 26日 実力考査。
- 5月8日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 15日 千葉県印旛郡白井町の本校グラウンドに野球部合宿所が完成し落成式を挙げる。千葉商高と親善試合を行う。



合宿所完成記念親善試合風景（対千葉商高）

- 小・小松川2中優勝）
- 10月30日 創立40周年記念式典を行う。
- 30日 11月1・2日 記念文化祭。



創立40周年の記念誌

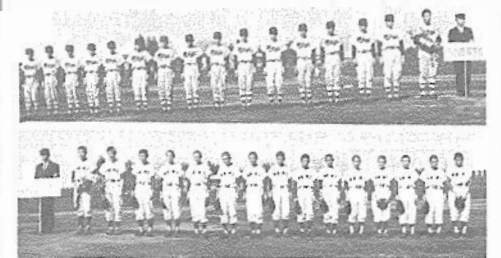


40周年記念式典で挨拶する 守屋美智雄校長

- 11月3日 野球場グラウンド開き。明治高校と親善試合を行う。



待望のグラウンド完成



球場開きに対戦した④明治高校野球部員と①本校野球部員

- 8日～16日 2年修学旅行（九州一周、7泊8日・二陣に分けて実施）。従来3年生の7月に実施していた北海道旅行を今年度から変更する。
- 11日 進路指導懇談会。
- 27日 生徒会役員選挙（会長に清野修君）

- 11月11日 成人講話（講師 医学博士 守屋美喜雄先生）
- 1月19日～31日 3年スキー教室（六日町、2泊3日）
- 31日～2月27日 2年スキー教室（六日町、2泊3日）この年からスキー教室は2年時となる。
- 2月13日 予餞会（江戸川公会堂）
- 3月3日 第42回卒業式（商業科213名、機械科234名、電気科131名、建築科112名）建築科は第1回の卒業生である。



本館普通科職員室

昭和42年度

- 4月1日 預血会発足。
- 11日 入学式（商業科153名・機械科327名・電気科105名・建築科106名）
- 22日 PTA 総会（新会長に望月好道氏）
- 27日 1年学力テスト。
- 5月6日 3年就職講話。
- 13日 守屋荒美雄先生の記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 6月10日 増田啓策先生逝去（70歳）
- 7月11日～24日 3年夏期講習。
- 16日～19日 2年修学旅行。機械科（新潟・佐渡方面）
- 17日～20日 電気科（佐久間・黒四ダム方面）
- 20日～8月7日 1年林間学校（3泊4日）
- 8月5日～8月26日 清水保洋先生、海外研修（ヨーロッパ8カ国を視察）。
- 8月21日～31日 1・2年夏期講習会。
- 10月2日 建築科2年校外見学（日光）
- 10日 体育祭。
- 14日 進路指導懇談会。
- 23日 生徒会役員選挙（会長に古川順二君）



抱負をアピールする生徒会役員立候補者

昭和43年度

- 4月1日 坊主刈りであった生徒の髪型をこの年から長髪許可。



背広に坊主頭、関商生のトレードマークまた一つ消える

- 11日 入学式（商業科90名・機械科228名・電気科105名・建築科81名）。
- 15日～25日 新入生オリエンテーション（白井、1泊2日）。
- 20日 PTA 総会（新会長に飯島正司氏）
- 26日 1年学力テスト。
- 5月11日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係者の物故者慰霊祭を挙げる。
- 7月15日～19日 2年修学旅行。機械科（能登・トヨタ自動車）、電気科（黒四ダム・上高地・高山）
- 20日～8月4日 1年林間学校、3泊4日。

- 学年単位の旅行はこれが最後となる。
- 31日 長谷川義人先生逝去（46歳）



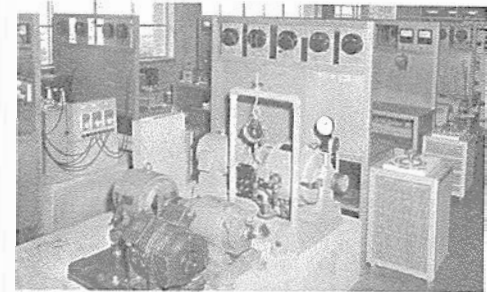
商業実践授業風景

- 11月27日 成人講話（講師 千葉大教授 望月衛先生）



“高校生の家庭教育”という演題で講演する望月先生

- 1月20日 予餞会。
- 21日～2月14日 2年スキー教室（六日町、2泊3日）
- 2月14日～3月6日 3年スキー教室（六日町、2泊3日）



実験器材の並ぶ電気科実習室

- 3月13日 第41回卒業式（商業科248名・機械科358名・電気科226名）。
- 15日 電気科2年、校外見学（城山水力・磯子火力発電所）
- 27日～30日 2年修学旅行（3泊4日）、商業科（鈴鹿・伊勢・鳥羽）、建築科（京都・奈良・吉野・伊勢）

- 3月13日 第40回卒業式（商業科201名・機械科337名・電気科205名）

研修

職員の研究発表誌「研修」発刊される



卒業式朝のスナップ

昭和41年度

- 4月12日 入学式（商業科231名・機械科254名・電気科128名・建築科82名）



入学式でのクラス担任紹介

- 23日 PTA 総会（新会長に鹿野元一氏）
- 5月14日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 7月22日～8月9日 1年林間学校（3泊4日）
- 9月19日～22日 球技大会。
- 22日～23日 生徒作品展。
- 10月14日 生徒会役員選挙（会長に上野誠司君）
- 26日～11月3日 2年修学旅行（九州一周・6泊7日・2陣に分けて実施）。

11月1・2日 記念文化祭。

6日 体育祭。
15日 成人講話
(講師 星華学園 倉科 茂副園長)

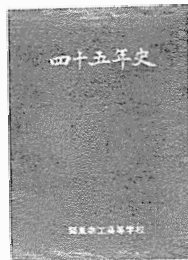
24日～29日 商業科2・3年(営業)校外実習。

27日 商業科2・3年(経理)校外見学(NHK放送センター)

1月24日～2月24日 2年スキー教室(2泊3日、六日町)。

2月15日 入学考査(国、英、数)
27日 予餞会(江戸川公会堂)

3月3日 第44回卒業式(商業科122名・機械科257名・電気科100名・建築科86名・定時制機械科18名)



写真中心に編集された四十五年史

昭和45年度

4月1日 従来は生徒のオートバイ通学を認めていたが、交通事故激増のためオートバイの通学や乗車を禁止する。



ズラリ並んだ生徒通学用バイク

9日 入学式(商業科126名・機械科375名・電気科165名・建築科117名)

13日～5月23日 新入生オリエンテーション(白井グランド、1泊2日)

25日 ▶TA 総会(新会長に井上寅雄氏)

5月2日 就職講話。

9日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。

研究会を開催する。
9月29日 インターアクトクラブ認証状伝達式を挙げる。



インターアクトクラブ誕生

10月 生徒会役員選挙(会長に小川喜正君)
22日～26日 3年修学旅行商業科(北陸一周)、建築科(京都・奈良)



建築中の機械科総合実習館

11月1日 創立45周年記念式典と機械科総合実習館落成式を挙げる。
校史「四十五年史」発刊。



記念文化祭直前発行の学校新聞

れたが、昭和43年度選抜高校野球大会の東京都代表補欠校に選ばれる。

27日 野球部後援会発足(会長に石渡金三氏)

理事長の守屋美賀雄先生が上智大学学長に就任される。

1月25日～2月25日 2年スキー教室(六日町・2泊3日)

2月14日～18日 商業科(営業コース)校外実習。

15日 入学考査。

関東商工高等学校インターアクトクラブ結成。

3月3日 第43回卒業式(商業科191名・機械科228名・電気科116名・建築科67名・定時制機械科32名)

昭和44年度

4月8日 入学式(商業科95名・機械科354名・電気科148名・建築科107名)

11日～5月17日 1年オリエンテーション(白井グランド、1泊2日)

26日 ▶TA 総会(新会長に中村初雄氏)

28日 建築科2・3年校外見学「新宮殿建築資料展」(晴海)

30日 電気科2・3年校外見学、国際見本市(晴海)

5月10日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。

17日 建築科映画教室「超高層のあけぼの」

6月16日～21日 商業科(営業)「校外実習」
19日 商業科(経理)校外見学。

7月8日 機械科校外見学「金属機械加工展」(晴海)

20日～8月4日 1年林間学校(3泊4日)

28日～8月19日 仲野秀雄先生、海外研修(ヨーロッパを中心に12カ国視察)

8月20日～30日 1・2年夏季講習。

9月20日 姉妹校「吉祥女子高」との合同研



駒出池でテントを設営する生徒たち

7月24日～8月14日 木川木六先生、海外研修(ヨーロッパ13カ国を視察)

8月21日～31日 1・2年講習会。

9月29日・30日 生徒作品展。

10月5日 映画鑑賞「青春」(本所劇場・キングキ)。

10日 体育祭。

12日 姉妹校「吉祥女子高」と合同研究会。

13日 「明治100年記念大銀座祭」に吹奏楽部がパレードする。



“明治も遠くなりけり”吹奏楽部の銀座パレードを扱った学校新聞

10月 生徒会役員選挙(会長に浅沼 巧君)

11月2日 校外見学実施。1年(平林寺・日野自動車)、2年建築科(日光)、3年(真鶴岬)

3日 第16回関東杯珠算競技大会(第9 峡田小・中台中優勝)

16日 成人講話(講師 宮城音弥氏)

19日 硬式野球部が秋季東京大会で大活躍した。準決勝で堀越高に6-0で敗



緊張して対面式に向う1年生



余裕で迎える在校生

- 19日 1年学力テスト。
- 22日 PTA 総会（新会長に佐々木隆保氏）
- 5月13日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 22日～26日 3年修学旅行。商業科・機械科(山陽・山陰方面)、電気科(秋田・青森方面)、建築科(伊勢・吉野・奈良方面)
- 7月7日 映画教室「札幌オリンピック」(江戸川公会堂・江東劇場)
- 8日 就職講話(講師 亀戸職業安定所 職業指導課長 若林栄三郎氏)
- 7月23日～8月10日 1年林間学校(3泊4日)
- 26日～8月20日 渡辺泰先生、南秀夫先生海外研修(ソ連をはじめヨーロッパ11カ国を視察)
- 9月22日 体育祭。

勝ってよし負けてまたよし体育祭



ナダ・アメリカ)

- 9月12日、13日 生徒作品展。
- 10月16日 体育祭。
- 20日 生徒会役員選挙(会長に島本 厳君)
- 24日 成人講話(学校長・尾又・内山先生)
- 11月7日 第19回関商杯珠算競技大会(隅田小・池袋中優勝)
- 11日 校外見学実施。商業科(平林寺・吉見百穴)、機械科(1年、香取神宮・鹿島臨海工業地帯。2・3年、日産ジゼル工場)電気科(1年、小河内ダム・深大寺。2年、入間航空基地・深大寺。3年、河口湖発電所・白糸の滝)建築科(2年、日光。3年、都内建築物・放送センター他)
- 1月18日～2月27日 2年スキー教室(2泊3日、六日町)
- 2月 校内理髪実習開始(百円床屋)。



学校新聞に載った百円床屋の記事

- 2月15日 入学考査(国・英・数・面接)。
- 3月3日 第46回卒業式(商業科77名・機械科305名・電気科133名・建築科87名)

昭和47年度

- 4月10日 入学式(商業科100名、機械科298名、電気科100名、建築科93名)

昭和四十七年度 入学式



高校生活はじまる

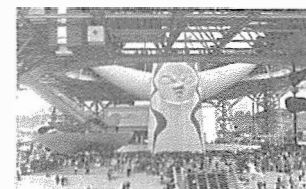
国を視察)

- 8月28日、29日 1年万国博見学旅行(1泊2日)
- 9月20日～21日 生徒作品展。
- 10月10日 体育祭。
- 19日 生徒会役員選挙(会長佐藤祥彦君)
- 24日 成人講話(講師 学校長・尾又・内山先生)
- 11月1日 第18回関商杯珠算競技大会(隅田小・中台中優勝)
- 4日 建築科校外見学(日光)
- 6日 3年校外見学(久能山・日本平)
- 24日 電気科2年校外見学(千葉火力発電所)
- 12月4日 商業科1年校外見学(横浜税関・生糸検査所)
- 1月17日～2月26日 2年スキー教室(六日町、2泊3日)
- 2月15日 入学考査(国、英、数)
- 3月3日 第45回卒業式(商業科75名・機械科216名・電気科97名・建築科61名・定時制機械科22名)

昭和46年度

- 4月1日 この年から定時制(第2部)の生徒募集を中止する。
- 9日 入学式(商業科98名・機械科338名・電気科112名・建築科112名)
- 24日 PTA 総会(新会長に荒井徳人氏)
- 5月8日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 6月3日 映画教室「日本万国博」(江戸川公会堂)
- 7日～12日 商業科「校外実習」
- 7月3日 就職講話。
- 22日～8月9日 1年林間学校(3泊4日)
- 27日～8月19日 向井武夫先生、海外研修(ソ連をはじめヨーロッパ計9カ国を視察)
- 8月1日～21日 杉山茂先生、海外研修(カ

- 5月19日～22日 2年修学旅行。商業・機械・電気科(万国博と南紀方面)。建築科(万国博と伊勢・奈良)
- 20日～23日 3年修学旅行、前記と同コース。



2、3年生は修学旅行に万国博見学を組み入れた



6月8日～13日 商業科「校外実習」



地元江戸川信用金庫での商業科生徒の実習

- 7月22日～8月12日 1年林間学校(3泊4日)
- 26日～8月20日 守屋校長、世界教育者会議へ出席(オーストラリア・シドニー)
- 29日～8月20日 尾又徹・内山勝憲先生、海外研修(ソ連、ヨーロッパ9カ

- 5月11日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙行。
- 17日 後援会総会（新会長に林 功氏）
- 20日～24日 3年修学旅行。商業科・機械科（山陽・山陰方面）、電気科（奥東北・陸中海岸）、建築科（伊勢・吉野・奈良方面）
- 24日 普通科校外見学。「レオナルド・ダ・ヴィンチ展」（国立科学博物館）
- 7月17日～8月7日 1年林間学校（3泊4日）
- 9月～11月3日 校内球技大会



球技大会表彰式

- 10月26日 校外見学。普通科1・2年（高尾山ハイク）、機械科（中国展）、電気科（国立科学博物館）、建築科（1年、鎌倉。2年、日光）
- 11月3日 創立50周年記念式典を挙行。記念行事（記念植樹・正面玄関前・グラウンド整地・校庭南側・ブロック塀補修・学校新聞記念号発刊・記念文化祭3日・4日）



創立50周年を特集した学校新聞



文化祭と必修クラブを特集した学校新聞

- 11月3・4日 文化祭。
- 10日 成人講話（講師 NHK 学校放送担当部長 西山昭雄氏）。
- 26日 守屋校長、文部省より教育功労賞を受賞。
- 1月16日～2月25日 2年スキー教室実施（六日町・2泊3日）
- 2月8日 守屋荒美雄先生墓前祭。
- 18日 入学考査。
- 28日 予餞会。
- 3月2日 第48回卒業式（商業科81名・機械部279名・電気科101名・建築科97名・定時制機械科、12名）最後の定時制（第2部）卒業生を出す。第2部卒業生総数は850名。

昭和49年度

- 4月9日 入学式（普通科106名・機械科416名・電気科128名・建築科120名）
- 18日 慰霊祭。追悼会を開く。
- 20日 1年学力テスト。

- 名・電気科96名・建築科90名）
- 21日 PTA 総会で従来の「PTA」を「後援会」と名称を変更する。新会長に木下一郎氏就任。

- 5月12日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙行
- 21日～25日 3年修学旅行。商業科・機械科（山陽・山陰方面）、電気科（秋田・青森方面）、建築科（伊勢・吉野・奈良方面）
- 7月13日 「PTA 広報」を「後援会広報」と改称する。



「PTA 広報」が「後援会広報」と改称

- 7月24日～8月8日 1年林間学校（3泊4日）
- 8月5日～11日 普通科（1年1組）八千穂山荘で学習会を開く。
- 9月1日～10月27日 校内球技大会。
- 10月3日 制帽着用の自由化を認める。
- 12日 校外見学実施。商業科（2・3年、東京証券取引所・NHK 放送センター）、建築科（1年、所沢・川越方面。2年、日光）
- 23日 「関東商工高校新聞」を「関東一高新聞」と改称する。
- 26日 普通科1年校外見学（三浦半島）



体育祭点描

- 10月20日 建築科校外見学（1年、川越・東村山方面。2年、日光）
- 21日 成人講話（講師 江戸川区社会教育委員 石井釣先生）
- 11月5日～6日 文化祭（テーマ「経済成長と公害」）
- 5日には「第20回関商杯珠算競技大会」（杉並9小・赤羽中優勝）を同時開催。「関商杯珠算競技大会」はこれが最後となる。
- 15日 生徒会役員選挙（会長に菅原良和君）
- 18日 建築科3年生野球部合宿所の倉庫を作る。
- 1月17日～2月26日 2年スキー教室（六日町、2泊3日）
- 1月27日 1年商電・コース別説明父母会。
- 2月18日～19日 入学考査（国・英・数・面接）
- 27日 予餞会（江戸川公会堂）
- 3月3日 第47回卒業式（商業科109名・機械科302名・電気科138名・建築科99名）

昭和48年度

- 4月1日 商業科を廃止し、普通科を復活設置。校名を関東第一高等学校と改称する。
- 4月 必修クラブ活動開始（1年生11クラブ）。
- 10日 入学式（普通科58名・機械科265名）



2階の剣道場



2階の柔道場



体育館が完成
 評判の上
 生徒の反響をとりあげた
 学校新聞

生徒の反響をとりあげた
学校新聞



昼食時混雑する1階のカフェテリア



3階のジムナジウム

3月3日 第51回卒業式(普通科92名・機械科316名・電気科100名・建築科96名)

昭和52年度

- 4月9日 入学式(普通科156名・機械科310名・電気科98名・建築科126名)
- 13日 1年学力テスト。
- 5月7日 後援会総会(新会長に吉川和男氏)
- 14日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。

元めぐり。(2年)習志野自衛隊。電気科(1、2年)科学技術館。建築科(1年)日本民家園、(2年)日光。
 28日 建築科2年伊藤俊幸君(相撲部)が大相撲高田川部屋へ入門する。



相撲部から初のプロ誕生

- 11月3・4日 霜月祭
- 20日 生徒会役員選挙(会長に高橋祐一君)
- 21日 高校野球秋季大会で硬式野球部は大活躍し準決勝に進出したが早稲田実業に惜しくも敗れた。(4対1)
- 12月25日 総合体育館竣工。



待望久しい総合体育館完成

- 1月12日～2月24日 2年スキー教室、六日町スキーハウス・2泊3日。
- 20日 総合体育館落成式挙げる。

体育館落成式で挨拶する
守屋美賀雄理事長



昭和51年度

- 4月9日 入学式(普通科143名・機械科291名・電気科101名・建築科108名)
- 4月 生徒週番部が発足する。
- 19日 1年、学力テスト。
- 24日 後援会総会(新会長に村山五郎氏)
- 5月8日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 24～29日 3年修学旅行、機械科(山陽・四国)、電気科(奥東北・陸中海岸)、建築科(伊勢・吉野・奈良)
- 6月7日 交通事故・非行防止のための講演と映画(講師 小松川警察署員)



体育館地鎮祭

- 7月 普通科3年歌舞伎教室鑑賞(国立劇場、平家女護島「俊寛」)
- 18日～8月4日 1年林間学校(2泊3日)
- 9月19日 体育祭(松江三中校庭)
- 10月7日 校外見学。普通科(1年)高尾山ハイク、(2年)NHK放送センター。機械科(1年)平将門遺跡と益子焼窯

昭和50年度

- 11月20日 生徒会役員選挙(会長に万処好雄君)
- 1月18日～2月21日 2年スキー教室(六日町 2泊3日)
- 2月18日 入学考査。
- 28日 予餞会(江戸川公会堂)
- 3月3日 第49回卒業式(商業科80名・機械科234名・電気科89名・建築科77名)商業科は最後の卒業生となる。
- 24日～28日 2年普通科、修学旅行(九州一周)

- 4月1日 木川木六教諭、教頭に昇任。
- 9日 入学式(普通科134名・機械科303名・電気科174名・建築科120名)
- 11日 1年学力テスト。
- 26日 後援会総会(新会長に大崎正介氏)
- 5月10日 慰霊祭・追悼会を開く。
- 24日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
- 26日～30日 3年修学旅行。機械科(山陽・四国方面)、電気科(奥東北・陸中海岸)、建築科(伊勢・吉野・奈良)
- 6月9日 交通事故、非行防止のための講演と映画(講師 小松川警察署員)
- 7月17日～8月3日 1年林間学校(2泊3日)
- 8月22日～29日 夏季講習会(普1・2・3年就職者)
- 10月22日 体育祭。
- 24日 校外見学、普通科(1年、高尾山ハイク、2年、武蔵森林公園)、機械科(1年、川鉄・こどもの国、2年、国際金属加工機械展)、電気科(1・2年)船の科学館、建築科(1年)日本民家園、(2年)日光。
- 11月2・3日 霜月祭(従来の「文化祭」を「霜月祭」と命名)。校庭に記念植樹。
- 19日 生徒会役員選挙(会長に吉田彰才君)

昭和54年

4月1日 本年から二期制を採用(前期は4月1日～9月30日、後期は10月1日～3月31日)
 細谷義秋教諭が教頭に昇任。
 校内理髪実習廃止。
 進級規定が改正(出席日数・出席時数はそれぞれ3/4以上)と新評価基準実施(中間考査成績も成績表交付となる)
 普通科1年生は本年から基礎教科(英・数・国)について習熟度別学習方法をとる。(3学級を4班に分け、同時授業をすすめる)

10日 入学式(午前、普通科3学級・電気科2学級)(午後、機械科5学級・建築科2学級)新入生は普通科146名・機械科275名・電気科111名・建築科108名の計640名。



学校長の前で宣誓文を読む新入生

11日～14日 全学年・学級オリエンテーションを実施。11日の対面式をはじめとして、学力テスト・職適テスト・身体検査(計測)・「学園生活の手引き」指導・非行防止映画上映・科別ガイダンス・教室内討論・委員選出等を行う。

16日 電気科生徒の電気工事士講習(7月3日まで)開始。

17日 千葉県印旛郡白井町の本校野球グラウンド内に建てる野球部雨天練習場の地鎮祭を行う。

25日 国鉄ストのため臨時休校。

ブ激励会。

19日～8月8日 1年林間学校(2泊3日)
 26日～8月16日 大谷要先生、海外研修。
 9月2日～5日 校内球技大会(バレーボール・バスケットボール・卓球・サッカー)
 3日 相撲部の道場が完成し道場開きを行う。大相撲高砂部屋一門の高砂親方、九重親方をはじめ、千代の富士・富士桜・長岡(現在の朝潮)らの関取りがお祝いに参加。
 なお相撲道場は岩橋氏(33年商業科卒で建設会社を経営)から寄贈される。



岩橋先輩から相撲部へ大きなプレゼント

10月3日 校外見学(1・2年生「宇宙博」)
 11月3日 霜月祭(テーマ「青春」)
 11月 生徒会役員選挙(会長に遠山正行君)
 1月30日～2月8日 2年スキー教室。3泊4日、越後中里スキー場で二班に分けて実施。
 2月18日 入学考査。午前、筆記(国・数・英)・午後、(面接)
 21日 同合格発表。
 28日 予餞会(江戸川公会堂)
 3月3日 第53回卒業式(普通科119名・機械科241名・電気科90名・建築科89名、計539名)
 20日～4月4日 高橋徳助先生、海外研修。

10日 入学式(普通科151名・機械科347名・電気科159名・建築科131名)



厳粛な入学式



入学式での担任紹介



新入生と先輩との出会い

11日 1年学力テスト。
 22日 後援会総会(新会長に甲斐輝秋氏)
 5月13日 守屋荒美雄先生記念祭と本校関係物故者の慰霊祭を挙げる。
 6月5日～9日 3年修学旅行
 普通科(北九州方面)、機械科(四国一周)、電気科(奥東北・陸中海岸方面)、建築科(京都・奈良・吉野・伊勢方面)
 6月2日 野球部後援会の「白球会」が発足(新会長に吉川和男氏)旧野球部後援会は発展的に解消。
 6日 東京都高校卓球選手権大会で卓球部が総合優勝(団体・ダブルスとも優勝、シングルス2位)
 7月 普通科全クラス歌舞伎教室鑑賞(国立劇場「義経千本桜」)
 18日 夏休み中、各大会に出場するクラ

23日～27日 3年修学旅行。普通科(北九州方面)、機械科(山陽・四国方面)、電気科(奥東北・陸中海岸方面)、建築科(伊勢・吉野・奈良方面)
 6月24日 就職講話(講師 亀戸職業安定所員)
 7月15日 普通科3年歌舞伎教室鑑賞(国立劇場「鳴神」)
 16日 野球グラウンド、夜間照明点灯式。
 22日～27日 ガス溶接講習会。
 22日～8月8日 1年林間学校(2泊3日)
 27日～8月20日 佐藤公太郎先生、海外研修。
 8月22日～28日 普通科講習会。
 9月2日～5日 校内球技大会。
 10月4日 1・2年校外見学。普通科(1年、高尾山ハイイク、2年、深大寺)、機械科(1・2年、習志野自衛隊)、電気科(1・2年、東海村原子力発電所)、建築科(1年、日本民家園、2年、日光)
 11月2日～4日 霜月祭。テーマ「青春と躍動」
 3日 理事長守屋美賀雄先生、勲二等瑞宝章を受賞。
 21日 生徒会役員選挙(新会長に玉井利昌君)
 1月12日～2月26日 2年スキー教室。六日町スキーハウス、2泊3日。
 2月18日 入学考査。午前中、学科(国、数、英)、午後、(面接)
 3月3日 第52回卒業式(普通科108名・機械科242名・電気科155名・建築科98名)
 31日 守屋美賀雄理事長が退任。

昭和53年度

4月1日 学校長守屋美賀雄先生が新理事長に就任(校長兼任)。木川木六教頭が副校長に、守屋美賀雄教諭が教頭に昇任した。

普通科(北陸・高山方面)(宿泊地 吉崎・羽咋・和倉温泉・高山)
 機械科(四国一周)(宿泊地 奥道後・足摺岬・高知・高松)
 電気科(奥東北・陸中海岸方面)(宿泊地 宮古国民休暇村・黒崎・鉛山・八幡平温泉)

建築科(京都南部・奈良・吉野・伊勢方面)(宿泊地 奈良・吉野山・室生・合歓の郷)

28日 1・2年校外見学(東京湾内洋上教室)

6月21日 NHK「関東ネットワーク」で吹奏楽部のオーストリア演奏旅行準備風景が放映される。

27日 進路指導講話、就職希望者、亀戸公共職業安定所所長講話。

大学進学希望者、進学指導課講話。専門学校進学希望者、リクルートセンター「進学映画」上映。

27日 吹奏楽部 オーストリア演奏旅行の結団式と記念演奏会を行う(江戸川公会堂)

7月2日～24日 吹奏楽部がオーストリアへ演奏旅行(第9回ウィーン国際青少年音楽祭吹奏楽コンクールで優勝する)

16日～19日 校内球技大会。

21日～8月2日 1年林間学校(八千穂山荘、2クラスずつ2泊3日で実施、往復貸切りバス利用)。

21日～26日 ガス溶接技能講習。

24日 吹奏楽部帰国。教職員・生徒が登校し新小岩駅から学校まで優勝パレードをし、学校で優勝祝賀式典を挙げる。



吹奏楽部世界一。新小岩駅から学校まで優勝パレード

24日 生徒会役員選挙(会長に藤本昌彦、副会長に長島康男・関口仁の両君、書記に伊藤佳彦・鎌田光範、会計に遠藤高広・関正範の各君が選ばれる)

1月8日 本校制定ベストの着用が許可になる。

22日～2月8日 2年スキー教室(3泊4日、越後中里スキー場)

2月18日 入学考査。

29日 予餞会(江戸川公会堂、ゲストは歌手、高橋明子さん)

3月3日 第54回卒業式(普通科125名・機械科246名・電気科81名・建築科93名、計545名)(就職内定者367名・自家就職者47名・進学希望者131名)

昭和55年度

4月1日 本年から新教育課程による「工業基礎」を工業科で実施する。

夏季制服(ホンコンシャツ、校章マーク入り、ネクタイなし)を新しく採用する。

8日 始業式。

9日 入学式(午前、普通科3学級、電気科2学級、午後、機械科5学級、建築科2学級)

10日～14日 全学年・学級オリエンテーションを実施する。

10日の対面式をはじめとして、学力テスト・職適テスト・「学園生活の手引き」指導・非行防止映画上映・科別ガイダンス・教室内討論・委員選出等を行う。(本年は身体検査(計測)は実施せず)2、3年は12日まで。

15日 電気科生徒電気工事士講習(6月21日まで)電話級無線通信士講習(7月31日まで)開始。

16日 国鉄ストのため自宅学習。

26日 後援会総会(新会長に須賀健氏)

5月10日 本校関係物故者慰霊祭。

26日～30日 3年修学旅行。(4泊5日、科別修学旅行は本年が最後となる。)



感謝をのべるキャプテン

10月12日 創立55周年記念体育祭(篠崎グラウンド)

19日 大型台風来襲のため SHR だけで授業中止し下校する。

31日 創立55周年生徒記念式典。記念講話「野球と人生」日本野球連盟理事 光沢毅氏。

全生徒に「55年史」「関東一高新聞・後援会広報縮刷版」「特製ネクタイピン」を配布する。

11月2日 創立55周年記念式典を来賓約350名出席のもと4階講堂で盛大に挙げる。

文部大臣はじめ、来賓多数の祝辞の後、本校吹奏楽部の「記念演奏」があった。永年本校発展のために尽力された旧職員4名(八代盛・鷲尾亮作・岩城蔵之助・佐中信の各先生)に感謝状と記念品を贈呈。

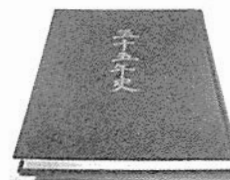
また永年勤続者表彰(木川木六先生をはじめ65名)午後カフェテリアで祝賀会を開催する。

記念として「五十五年史」「関東一高新聞・後援会広報縮刷版」「特製地図」を配布する。

「学校新聞・後援会広報縮刷版」

関東一高新聞 高松版 後援会広報

「五十五周年記念誌」



3日～4日 創立55周年記念「霜月祭」(テーマ「55の年輪」)

4月28日 後援会総会(新会長に小林勝二氏)

5月12日 本校関係物故者慰霊祭。

28日～6月1日 3年修学旅行(4泊5日)普通科(北陸・高山方面)(宿泊地 吉崎・羽咋・和倉温泉・高山)機械科(四国一周)(宿泊地 奥道後・足摺岬・高知・高松)電気科(奥東北・陸中海岸方面)(宿泊地 宮古国民休暇村・黒崎・鉛山・八幡平温泉)建築科(京都南部・奈良・吉野・伊勢方面)(宿泊地 奈良・吉野山・室生・合歓の郷)

28日 1・2年校外見学。(1年、三浦半島、2年、マザー牧場)

6月15日 進路指導講話(本年は就職・進学に分離して実施)

就職希望者 亀戸公共職業安定所所長の講話。

進学希望者 リクルートセンター「進学映画」上映。

7月10日 普通科1年歌舞伎教室鑑賞「仮名手本忠臣蔵」(国立劇場)

16日～18日 校内球技大会。(バレーボール・卓球・サッカー・バスケットボール)

19日～8月1日 林間学校(2泊3日)

19日 ガス溶接技能講習開始。

29日 硬式野球部が夏季東京大会で大活躍し準決勝へ進出(夏季大会では初)、日体荏原高と対戦し延長11回の熱戦の末、5対4で惜しくも敗退する。

29日～8月18日 細谷義秋先生、海外研修。

8月20日～30日 電気工事士講習。

31日 校内・校舎整備工事完了(壁面を塗装し窓枠をサッシに改修する)

9月1日 生徒通学自転車の学年別ステッカー貼付制度を採用する。

2日 野球部雨天練習場とスコアボード落成祝賀式。習志野高と親善試合を行う。

昭和57年度

- 4月1日 西館4階図書館の一部を改装して、進学クラスの教室(3教室)を新設する。
新1年生から新教育課程で実施する。工業科では1年生から英語自由選択制を導入する。(ただし半年で中止)
- 9日 始業式。
- 10日 入学式。(普通科314名・機械科342名・電気科116名・建築科110名の計882名が入学)
- 12日～15日 全学年・全学級オリエンテーション実施。12日の対面式をはじめとして、学力テスト・職適テスト・「学園生活の手引き」指導・進路指導・非行防止映画上映・科別ガイダンス・教室内討論・委員選出等を行う。
- 19日 電気科電気工事士講習会(6月26日まで)
- 24日 後援会総会。(新会長に高橋養一氏)
- 5月15日 例年の慰霊祭にかえて、HR時に全校マイク放送を通して「創立者の建学精神について」の話聞く。
- 24日～28日 3年生修学旅行。(4泊5日、西九州、2班に分けて実施)(宿泊地 阿蘇・島原・佐世保・平戸)
- 26日 1・2年生校外見学。(1年普通科、国立博物館・西洋美術館、1年機械科、晴海・食品工業展、1年電気・建築科、鎌倉見学、2年武蔵丘陵森林公園)。
- 6月18日 進路指導講話。就職希望者、亀戸公共職業安定所所長講話。進学希望者、リクルート「進学映画」上映。午後は父母対象講話。
- 7月3日 後援会臨時総会(創立60周年記念事業に関して)
- 5日 東京都学事部視察。
- 15日～17日 校内球技大会。
- 19日～8月7日 1年林間学校。豪雨のため道路不通等で予定より1日遅くな

施)。(主な見学地 唐津虹の松原・平戸島内・有田焼窯元・西海橋・長崎市内・雲仙・天草五橋・水前寺公園・熊本城・阿蘇。宿泊地 平戸・鹿子前・雲仙・阿蘇)

- 27日 1・2年校外見学(1年東京湾内洋上教室・2年武蔵丘陵森林公園)
- 6月26日 進路指導講座。就職希望者(亀戸公共職業安定所所長講話午前生徒、午後父母)進学希望者 リクルート「進学映画」上映(午前・生徒)進学指導課講話(午後・父母)
- 7月15日～17日 球技大会(バレーボール・バスケットボール・卓球・サッカー)
- 20日～8月2日 1年林間学校(八千穂山荘、2クラスずつ2泊3日で実施、往復貸切バス利用)。
- 20日～25日 ガス溶接技能講習会。
- 8月2日～7日 1年1組は学習会(英・数・国)を兼ねた林間学校を実施する。帰路小諸「懐古園」を見学する。
- 24日～29日 1年1組、夏期講習会(英・数・国。学校)を行う。
- 9月1日～19日 電気工事士技能講習会。
25日 1学年教員と父母との懇談会。
- 10月13日 体育祭(篠崎公園内競技場)
- 11月1日～2日 霜月祭(テーマHAND IN HAND)(3日表彰式)。
- 28日 生徒会役員選挙。(会長に高野真二君、副会長に角野剛・山崎茂の両君、書記に関川裕隆・塚本 豊、会計に長内勝己・木村克巳の各君)
- 12月2日 出身中学へ進路報告。
- 1月12日 日本赤十字社へ献血奉仕。
19日～2月5日 2年スキー教室。(3泊4日、越後中里スキー場)
- 2月18日 入学考査。
26日 予餞会(江戸川公会堂)
- 3月3日 第56回卒業式。(普通科130名・機械科229名・電気科89名・建築科93名の合計541名)
(進路内訳 就職内定者353名・自家就職者60名・進学希望者130名)

- 1月12日 元卓球世界チャンピオン鄒恩庭夫妻(中国)が卓球指導のため来校。
20日～2月6日 2年スキー教室(3泊4日越後中里スキー場)
- 2月18日 入学考査。
27日 予餞会(江戸川公会堂、ゲスト歌手 横須賀昌美さん)
- 3月3日 第55回卒業式(普通科133名・機械科278名・電気科137名・建築科99名、合計514名)(就職内定者427名・自家就職者45名・進学希望者175名)

昭和56年度

- 4月1日 守屋美智雄理事長兼校長が理事長の職に専念するため、守屋英美雄教頭が第5代校長に就任する。副校長に市川三男教諭、教頭に細谷義秋教諭。普通科では大学進学の結果を上げるため少人数による進学クラスを1学年当初から設置することに決まる。担当者の職員室を西館4階に新設する。本年から校内模試を廃止する。機械科で選択制を導入する。
- 8日 始業式。
- 9日 入学式(午前普通科4学級・電気科2学級)(午後、機械科5学級・建築科2学級)
- 10日～14日 全学年・学級オリエンテーション実施。
10日の対面式をはじめとして、学力テスト・職適テスト・「学園生活の手引き」指導・進路指導・非行防止映画上映・科別ガイダンス・教室内討論・委員選出等を行う。(2・3年は13日まで)
- 16日 電気科電気工事士講習会(6月27日まで)電話級無線通信士講習会(7月31日まで)。
- 25日 後援会総会(新会長に長島政男氏)
- 5月9日 本校関係物故者慰霊祭。
25日～29日 3年生修学旅行。(4泊5日、本年から西九州へ2班に分けて

- 8月21日～30日 電気工事士技能講習会。
9月4日 吹奏楽部、東京都知事・江戸川区長に帰国報告をする。
12日 吹奏楽部の優勝祝賀会を開く(ロッテ会館)
18日 吹奏楽部、ウィーン国際青少年音楽祭コンクール優勝記念演奏会を開く(江戸川公会堂)



吹奏楽部優勝記念演奏会

- 25日 地震による電車遅延で2校時目から考査開始。
- 10月6日 後期開始。後期から普通科1年1組を2クラスに分割(A・B組)し、A組を特別クラスとして20名編成とする。
- 17日 体育祭(篠崎公園内競技場)
- 11月2・3日 霜月祭(テーマ「ザ・ドリーム'80」)
- 12日 3年「税金の講話」(第6校時、江戸川税務署長)
- 27日 ウィーンからヴァイス教授来校(本校施設見学、区長訪問)
- 29日 生徒会役員選挙(会長に関口仁君、副会長に中村義明・皆川俊一の両君、書記に角野 剛・多田宏之、会計に関正範・長内勝己の各君が当選)
- 12月3日 3年出身中学へ進路報告(本年から専門学校進学者も含む)
- 8日 生徒会役員認証式。
22日 吹奏楽部の優勝を記念して、記念誌とレコードを全生徒ミカエルの巻に配布する。

ウィーン音楽祭優勝「記念誌」

30日 進路指導講演会(普通科1~3年)
講師—三宅義信氏(自衛隊体育学校)

7月9日 父母と1年担任との懇談会。

11日~14日 教職員は3班に分けて「白銀山荘」を視察する。

12日 建築科2年校外見学。(日光)

15日 同窓会総会。

17日 オランダ木管合奏団、本校に表敬訪問し練習する。

18日~21日 普通科2年1組、夏期進学講習会(英・数・社)〔白銀山荘〕

19日~8月5日 1年林間学校(八千穂山荘)

19日~26日 ガス溶接技能講習会。

21日~27日 普通科1年1組、夏期進学講習会(英・数・国)(日光霧降高原ロッジ)

29日 東東京大会準決勝で早稲田実業に7対0でコールド勝ちした本校硬式野球部は初の決勝進出を果たした。決勝の相手は帝京高であったが接戦の末惜しくも3対2で敗れた。甲子園出場の夢は果せなかったが堂々の準優勝であった。終了後、新小岩駅前から学校まで準優勝パレードをした。



甲子園へあと一步。準優勝しグラウンドをまわる本校選手。

31日 五十嵐広一講師告別式。

8月10日~18日 普通科3年1組、夏期進学講習会(英・国・日)(日光 田母沢本館)

23日~30日 ガス・アーク溶接講習会。

9月1日 2学期始業式。東・西館内部改装完了。生徒は上履き使用となる。また、カフェテリアを改装し、進路指導室・

8日 入学式(江戸川区総合文化センター大ホール)(普通科435名・機械科279名・電気科106名・建築科110名の計930名が入学)

9日 始業式。

11日~14日 全学年オリエンテーション実施。11日の対面式をはじめとして、学力テスト・職適テスト・「学園生活の手引き」指導・進路指導・非行防止映画上映・科別ガイダンス・教室内討論・委員選出等を行う。(2・3年は13日まで)

4月 後援会総会(新会長に巢鴨栄一氏)

5月14日 南館校舎の竣工式。



完成した「南館」の偉容

22日~27日 3年修学旅行。(4泊5日、西九州、2班に分けて実施)(宿泊地平戸・佐世保・雲仙・阿蘇)

26日 1・2年学校長訓話「校外見学についての心構え」

27日 1・2年校外見学。(普通科1年、鎌倉方面、工業科1年・普通科・電気科2年、ディズニーランド、機械科2年、習志野自衛隊、建築科2年、日本民家園)

6月4日 進路指導講話(講堂)(3年生徒一午前(3・4時限)3年父母一午後)(講師 就職一亀戸公共職業安定所学卒部門上席 蓮見博昭氏。進学一旺文社書籍局高校学参課長 増子良一氏)

11日 スキーハウス、六日町「白銀山荘」竣工式。

25日 父母と2年担任との懇談会。

振興の功で勲四等旭日小綬章を受賞される。

8日~19日 ラジオ音響技能検定講習会。

20日 生徒会役員選挙。(会長に木村克巳君、副会長に山崎茂雄・高津幸二の両君、会計に石原有一・増田秀一、書記に塚本 豊・渡辺幸保の各君当選)

12月8日 出身中学校へ進路報告。

11日 理事長叙勲祝賀会(ロッテ会館)

1月11日 日本赤十字社へ献血奉仕(職員・生徒273名協力)

18日~2月4日 スキー教室(2学年全学級)3泊4日越後中里スキー場で実施する。

20日 東京都産業教育振興会から仲野秀雄先生が産業教育功労者として表彰される。(東京青山会館)

2月18日 入学考査。

28日 予餞会(江戸川公会堂)

3月3日 卒業式。(普通科159名・機械科217名・電気科95名・建築科85名の計556名)
(進路内訳、就職内定者358名・自家就職者44名・進学希望者154名・大学69名・専修・各種学校85名)。

昭和58年度

4月1日 本年度から3学期制に戻る。新入生からは従来の学生かばんを廃止して、通学用バッグを使用することになる(学校指定)

佐藤公太郎教諭、教頭に昇任。

南館校舎(視聴覚室・音楽室併設)使用開始(1年普通科が使用)。

建築科実習館、体育館わきに移設。校庭全面舗装完了。

正門わきにガードマン室新設、ガードマン2名常駐し校内警備にあたる。同時に生徒通用門(校庭南側)開設。

普通科就職クラス(5組~9組)1年当初から商業科目受講開始。

る。

7月19日~24日 ガス溶接技能講習会。

8月11日~20日 普通科3年1組、夏期進学講習会(英・数・国・理・社。日光)

23日~28日 普通科2年1組、夏期講習会(英・数・国)

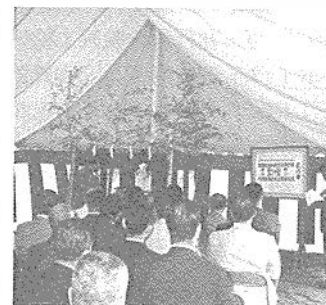
23日~25日 ガス溶接技能講習会。

26日~29日 アーク溶接技能講習会。

26日 新校舎(南館)地鎮祭(建築科実習場跡に南館校舎を新築、建築科実習館は体育館寄りに新築)
建物概要—鉄筋コンクリート4階建・延面積1,651㎡(約500坪)普通教室9・音楽教室・視聴覚教室、各1。



緻入れをする守屋美智雄理事長



「南館」地鎮祭

29日 六日町スキーハウス(白銀山荘)地鎮祭。
建物概要—鉄筋コンクリート2階建て一部3階建て、延面積728㎡(約220坪)

10月13日 体育祭予行演習(篠崎公園内競技場)。本年から予行を実施する。

15日 体育祭(篠崎公園内競技場)

18日 前理事長守屋美賀雄先生呼吸不全により逝去される。(76歳)

20日 前理事長告別式(密葬)(聖イグナチオ教会)

26日 前理事長本葬(聖イグナチオ教会)

30日 硬式野球部、東京都秋季大会準決勝戦、応援のためLHRなし3時限授業。対帝京高校戦は4対1で惜しくも敗退する。

11月3日~4日 霜月祭。(5日表彰式)。

3日 理事長守屋美智雄先生が私学教育

専門学校一専門学校説明および、日本工学院他5校説明。

就職一亀戸公共職業安定所卒部門統括 井上今朝明氏。

9日 1・2年旺文社テスト。

25日 3年実務テスト。

7月14日 3年旺文社テスト

18日～21日 普通科3年1組夏期進学講習会(英・数・国。日光「ペンションけとる」)

22日～26日 普通科2年1組夏期進学講習会(英・数・国。日光「ペンションけとる」)

19日～8月8日 1年林間学校(八千穂山荘、2泊3日。行程は58年と同じ)

8月20日～27日 1年夏期進学講習会(1組を除く希望者、英・数・国)(校内で実施)

20日～26日 普通科1年1組夏期進学講習会(英・数・国。南会津「会津アストリアホテル」)

31日 本館・東館・西館・機械科実習館、外装工事完了。

9月1日 始業式。

1日～9日 残暑厳しいため、40分短縮授業。

10日 3年実務テスト。

14日 地鎮祭。

21日 就職希望者、会社への書類提出開始。

22日 3年旺文社テスト。

29日 江戸川区営野球場落成式に1年生有志参加。

10月6日 専門学校説明会。

1・2年旺文社テスト。

15日 体育祭予行練習(江戸川区陸上競技場)

16日 体育祭を挙げる。

31日 創立60周年記念式典(ホテル グランドパレス)を挙げる。

記念誌「六十年史」発刊。

11月3日・4日 創立60周年記念霜月祭予定。



入学式で父母代表のこたばに聞きいる先生たち

12日～14日(1年生は16日まで)全学年全学級でオリエンテーション実施。12日対面式をはじめとして、オリエンテーション期間中に、基礎学力テスト(英・数・国)・職適テスト・「学園生活の手引き」指導・進学指導・非行防止・交通安全映画上映・科別ガイダンス・委員選出等を行う。

4月21日 1年進学講演会。対象、生徒・父母(講師一旺文社入試情報センター課長 加藤巖氏) 講題一「大学進学のがまえ」(放課後)

28日 後援会総会(新会長に茂木武能氏)

5月14日 3年、就職希望者、実務テスト(放課後)

28日～6月1日 3年修学旅行。(1組を除く)(4泊5日、西九州2班に分けて実施。主な見学地、宿泊地は、前年度と同じ)

6月1日 1・2年校外見学。(見学先 1年普通科・機械科、ディズニーランド、電気科・建築科、国立歴史民俗博物館と東京電力(株)千葉火力発電所、2年普通科、ディズニーランド、機械科・電気科・建築科、船の科学館と東京羽田空港(全日空整備工場) 3年1組、国立歴史民俗博物館)

6月3日 江戸川区陸上競技場(西葛西)落成記念式典参加(2年生全員一集団演技、柔道の型披露)

8日 3年進路指導講話。大学進学・専門学校進学・就職の3会場に分けて実施。大学一講師、旺文社編集顧問 鶴城紀元氏。

名出席、3年、12時、約200名出席、1年、14時、約640名出席)講師 小松川警察署員2名。

5日 就職内定者の出身中学校への報告。

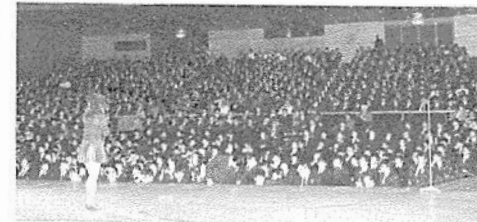
15日 建築科校外見学(佐倉・国立歴史民俗博物館)自由参加で104名参加。

1月10日 日本赤十字社へ献血奉仕(職員・生徒248名協力)

17日～2月10日 スキー教室。(2年全員4班に分け、3泊4日、越後中里スキー場で実施)

2月18日 入学考査。

29日 予餞会(江戸川区総合文化センター、ゲスト歌手、吹田明日香さん)



予餞会風景

3月3日 第58回卒業式。(普通科164名・機械科232名・電気科93名・建築科96名の計585名)

(進路内訳、就職内定者374名・自家就職者52名・進学希望者159名(大学55名・専修・各種学校104名))

21日～26日 2年1組修学旅行(5泊6日、南紀・奈良)(宿泊地 さんふらわあ(船中)・白浜・高野山・奈良・鳥羽)

昭和59年度

4月10日 始業式。

11日 入学式(江戸川区総合文化センター大ホール)(普通科517名・機械科267名・電気科115名・建築科101名の計1000名入学)

視聴覚室・保健室を移設。他に特別教室3教室を新設した。

9月2日～10日 残暑厳しいため40分の短縮授業。

3日 進路指導部の企画で「卒業生(就職者)の経験談を聞く会」を開く。(1組を除く3年生全員対象。3・4校時、講堂・視聴覚室・体育館利用)。

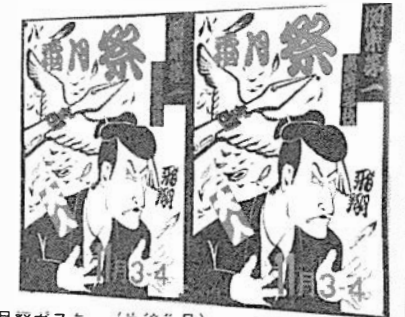
13日 東京私立中高協会主催 簿記検定試験実施。

21日 就職希望者、会社への書類提出開始。

10月14日 体育祭予行演習(篠崎公園)

18日 体育祭(篠崎公園)

11月3日～4日 霜月祭。5日表彰式。職員研修会(水上)



58年霜月祭ポスター(生徒作品)



霜月祭で人気を呼んだプロレス

8日～1月26日 週2日、放課後の進学講習会を開く。(3年推薦入学者対象、英・国)(約25名参加。他に数学の講習も実施)

22日 生徒会役員選挙。(会長に紙谷丈男君、副会長に渡辺幸保・村田成司の両君、会計に伊藤昌久・加藤信平、書記に桜井浩章・鏡俊行の各君が当選)

12月4日 生徒のオートバイ乗車禁止についての父母会開催(2年、10時、約620